1ビットDVD/CDシステム

取扱説明書　保証書付

形名 SD-V10（エス ディー ブイ）

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ご使用の前に、**「安全に正しくお使いいただくために」**を必ずお読みください。
この取扱説明書は、いつでも見ることができるところに必ず保存してください。

もくじ

1章 はじめに

ページ
安全に正しくお使いいただくために 4
著作権について 7
おもな特長 8
付属品について 8
各部のなまえ 9
ディスクについて 12

2章 使う前の準備

ページ
アンテナ、テレビ、電源コードを接続する 14
リモコンに乾電池を入れる 16
デモ表示の設定と解除 17
電源を入れる 17
表示部の明るさを変えるには 17
時計を合わせる 18

3章 DVD(CD)の再生・ラジオの聞きかた

ページ
音量や音質を調整する 19
DVD(CD)を再生する 20
ラジオ放送を聞く 22
放送局を登録する 23
テレビや本体の表示内容を切り換える 24

4章 DVD(CD)のいろいろな再生

ページ
よく使う操作
早送り / 早戻しをする 25
静止画 / コマ送りで見る 25
スローモーションで見る 25
ディスクの中を選んで再生する 26
くり返して再生する・順不同で再生する 27
好きな順に再生する 28
DVD-RW（VR モード）を再生する 29
MP3 ディスクのいろいろな操作 30

5章 DVDのいろいろな設定を変える

ページ

DVDを再生中にいろいろな設定を変える

字幕言語を変更する 31
音声言語（音声出力）を変更する 31
画像を明るくする 32
画質を鮮明にする 32
アングルを変更する 32
画像を拡大表示する 33
ディスクのメニューから字幕や
音声などを変更する 33

DVD再生設定画面からいろいろな設定を変える 34

DVDの初期設定を変える 35

6章 便利な使いかた

ページ

タイマー再生について 39
タイマー再生を設定する 40
タイマー設定したあとの動作について 42
おやすみタイマーを使う 43
スリープとタイマーを組み合わせて使う 44
ヘッドホンを使う 44
他の機器の再生音を聞く 45
テレビを操作する 46
他の機器と接続して、迫力のある音で楽しむ 47

7章 ご参考

ページ

“故障かな？”と思ったら 48
こんな表示が出たときは 50
ディスクの取り扱いについて 51
お手入れについて 51
別売品について 51
仕様 52
保証とアフターサービス 53
お客様ご相談窓口のご案内 54

本機で再生できるディスク

くわしくは、12ページをごらんください。

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。
内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

	人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
	人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味

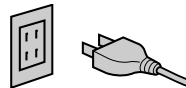
この記号は**気をつける必要がある**ことを表しています。

この記号は**してはいけない**ことを表しています。

この記号は**しなければならない**ことを表しています。

⚠警告

電源について

AC100V以外の電源電圧では使用しない

火災・感電の原因となります。

外国では使用しない

この製品を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用しないでください。(This unit cannot be used in foreign countries as designed for Japan only.)

雷について

雷が鳴りだしたら…
安全のため、製品にさわらないでください

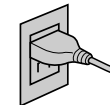
感電の原因となります。

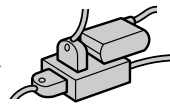
屋外で使用していて、雷が鳴りだしたら…
FMロッドアンテナをたたみ、AMアンテナをはずして、使用を中止してください

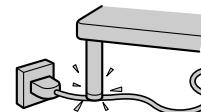
落雷の原因となります。

電源コードについて

付属以外の電源コードは使用しない

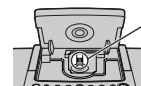
火災・感電の原因となります。

タコ足配線はしない

発熱により、火災の原因となります。

コードを傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っぱったり、加熱したり、加工したり、重い物を乗せたりしない

電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

電源コードが傷ついたときは…
販売店に交換をご依頼ください

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

光ピックアップについて

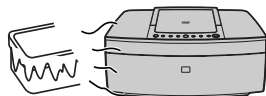
光ピックアップの光源を直視しない

目を痛める原因となります。

⚠警告

内部に物や水などを入れない

開口部（ディスク挿入口など）から金属類や燃えやすい物などを入れない

火災・感電・けがの原因となります。
特にお子様のいる家庭ではご注意ください。

風呂場や雨にあたる所、湿気の多い所では使用しない

火災・感電の原因となります。

近くに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かない

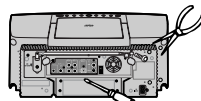
こぼれたり、中に入ると、
火災・感電の原因となります。

内部に水や異物などが入ったときは…

電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

キャビネットについて

キャビネットを開けたり、改造しない

火災・感電・けがの原因となります。
内部の点検・調整・修理は、販売店にご依頼ください。

異常が起きたら

万一、異常な音がしたり、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常な状態に気がついたときは…

電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください

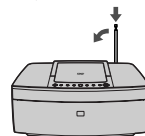
異常な状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。

持ち運ぶときは

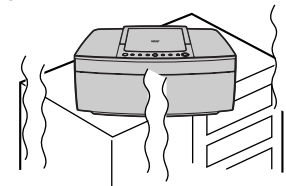
落としたり、衝撃を与えない

万一、落としたり、キャビネットを破損したときは、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

アンテナをのばしたまま持ち運ばない

アンテナが引っかかったり、目に当たったりして、けがや事故の原因となります。

⚠注意

置き場所について

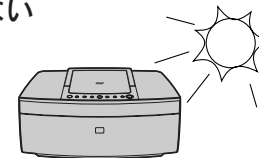
不安定な場所に置かない

落ちたりして、けがや故障の原因となることがあります。

油煙や湯気が当たるような場所に置かない

火災・事故の原因となることがあります。

冷気が直接吹きつける所や、極端に寒い場所に置かない

露がつき、漏電・焼損の原因となることがあります。

密閉した自動車内等、直射日光が長時間あたる場所や、暖房器具の近く、火気の近くには置かない

火災・事故の原因となることがあります。

⚠注意

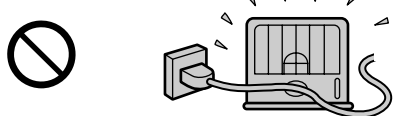
電源コードの取り扱いについて

プラグを抜くときはコードを引っぱらない

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

濡れた手でプラグを抜き差ししない

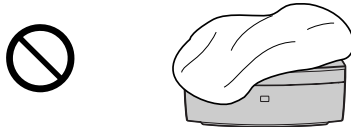
感電の原因となることがあります。

電源コードを熱器具に近づけない

コードの被覆がとけて、火災・感電の原因となることがあります。

コンセントへの差し込みがぐらついていたり、プラグやコードが熱いときは使用を中止する

火災・感電の原因となることがあります。

ご使用について

風通しの悪い状態で使用しない
また、布や布団でおおったり、つつんだりしない

熱がこもり、キャビネットが変形し、火災の原因となることがあります。

海辺や砂地など内部に砂の入りやすい所、ほこりの多い所で使用しない

焼損・発火や事故の原因となることがあります。

機器の接続について

他の機器を接続するときは、指定のコードをお使いください

テレビなど
本体

接続するときは、必ず電源を切り、他の機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。
また、付属のコードや指定以外のコードを使用すると、故障の原因となります。

移動するときは

電源を切り、電源コードやアンテナ線、接続コードを抜いてください

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

お手入れのときは

安全のため必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください

感電やけがの原因となることがあります。

長期間ご使用にならないときは

安全のため必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください

特殊なディスクについて

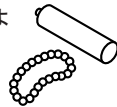
特殊形状（ハート型や八角形など）のディスクは使用しない

高速回転によりディスクが飛び出し、けがをするおそれがあります。

⚠注意

乾電池の取り扱いについて

乾電池は誤った使いかたをしますと、感電・破裂・発火の原因となることがあります。また、液もれをして機器を腐食させたり、手や衣類などを汚す原因にもなります。次の点に特に注意してください。

- **新しい乾電池と一度使用した乾電池をまぜて使用しない**
- **金属小物（かぎ・装飾品・ネックレス・コイン等）といっしょにポケットやかばんなどに入れない**
- **水に濡らさない**
- **加熱したり、火の中へは絶対に投げ込まない**
- **分解しない**
- **ハンダ付けしない**
- **端子をショート（短絡）させない**
- **種類のちがう乾電池をまぜて使用しない**
- **充電池（ニカド電池等）は使用しない**

- **乾電池が使えなくなったり、長い間使わないときは、乾電池を全部取り出しておいてください**

- **乾電池のプラス⊕とマイナス⊖の向きを、表示どおり正しく入れてください**

もし、液がもれた場合は、リモコンについた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。

万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

ヘッドホンで聞くときは

音量の設定に十分気をつける

思わぬ大音量がでて、耳を痛める原因となることがあります。

また、耳をあまり刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

ディスクブタについて

ディスクブタが開閉中は、指などをはさまないよう注意してください

- この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口までご連絡ください。（☞ P.54）
- お客様または第三者がこの製品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いません。

著作権について

・ディスクを無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、レンタル（有償、無償を問わず）することは、法律により禁止されています。

・ビデオデッキなどを接続してディスクの内容を複製しても、コピー防止機能の働きにより、複製した画像は乱れます。

・本機は、マクロビジョンコーポレーション等が所有する合衆国特許および知的所有権によって保護された、著作権保護テクノロジーを搭載しています。この著作権保護テクノロジーの使用にはマクロビジョンコーポレーションの認可が必要であり、同社の認可がない限りは一般家庭および特定の視聴用に制限されています。
解析（リバースエンジニアリング）または改造は禁止されています。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー、Pro Logic 及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

DTS、DTSデジタルアウトは、デジタルシアターシステムズ社の登録商標です。

おもな特長

DVD システムの新スタイル 簡単接続、持ち運びに便利なパーソナル DVD システム

DVD（CD）/ チューナー / アンプ / スピーカー　一体型の DVD システム。
テレビとの接続は、映像コード 1 本だけの簡単セッティング。
夜間など大きな音が出せないときでも、手元に置いて小さくてもはっきりした音で映画などを楽しむことができます。

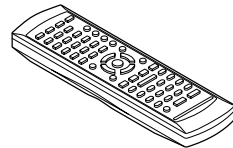
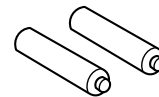
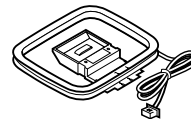
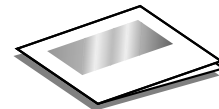
2.8MHz の高解像度サウンドを実現する 1 ビットデジタルアンプ搭載

1 秒間に約 280 万回（約 2.8MHz)の高速サンプリングにより、音の分解能力を飛躍的に向上。音の伝送 / 増幅を 1 ビットデジタル信号で行い、音の立ち上がりや滑らかさを高品位に再現するほか、アナログ信号での処理に比べ音質劣化の少ないクリアな音質を実現します。

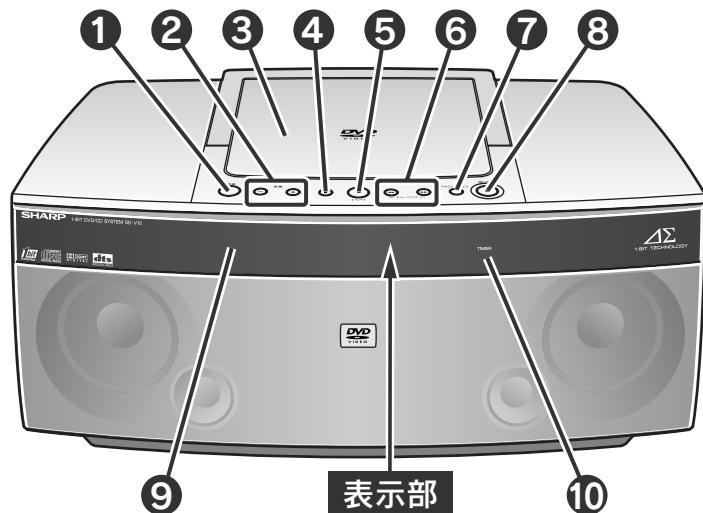
テレビ操作も可能な多機能リモコン

多機能リモコンで本体以外にシャープ製のテレビも操作できます。
（☞ P.46）

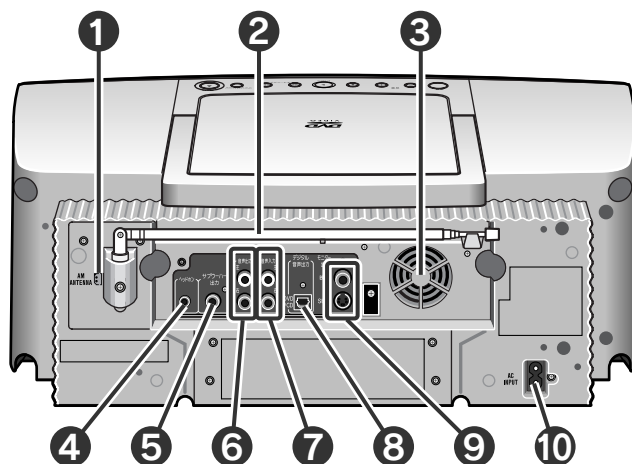
付属品について

付属品がすべてそろっているか、お確かめください。

リモコン送信機×１	単３乾電池×２ （リモコン送信機用）	電源コード×１
AM用ループアンテナ×１	映像コード×１	取扱説明書 （保証書付）×１

カタログおよび包装箱などに表示されている形名の最後のアルファベットは製品の色を示す記号です。色は異なっても、操作方法や仕様は同じです。

各部のなまえ

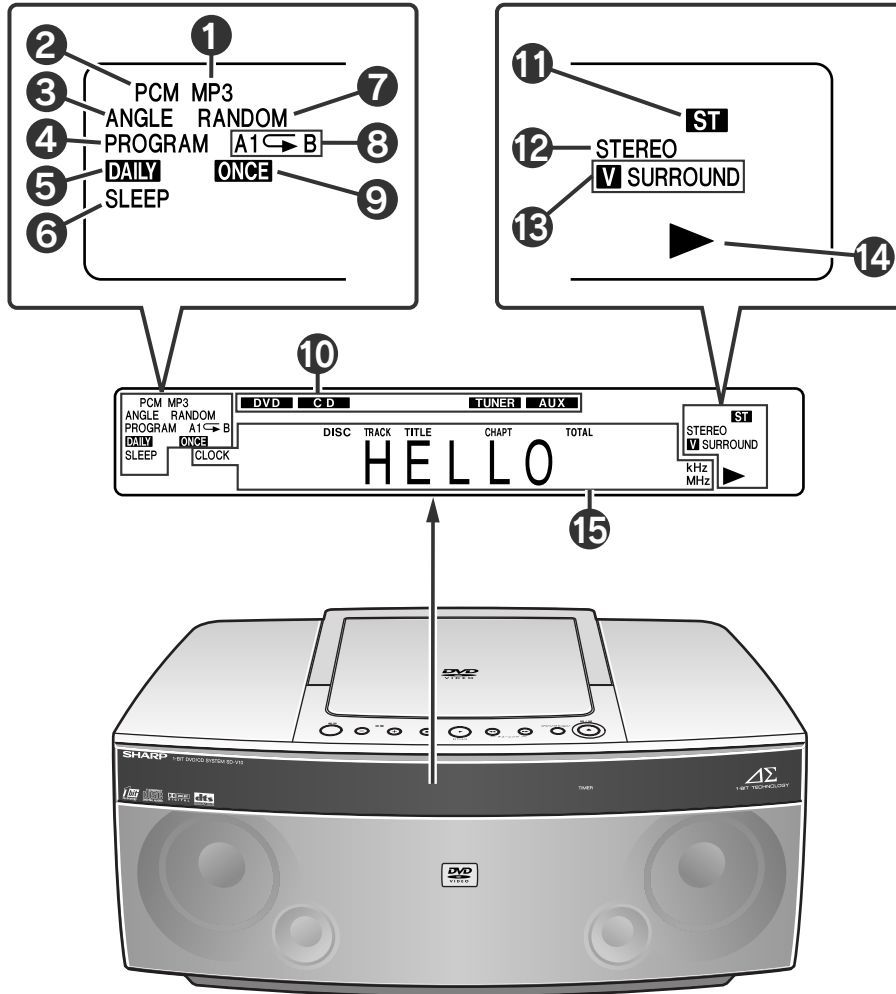
前面

参照ページ

❶ 電源ボタン .... 17、49
❷ 音量ボタン（＋/－）........................ 19
❸ ディスクブタ 20
❹ 停止ボタン（■）........................ 21
❺ 再生/バンド切換ボタン（▶/（バンド））............ 20、22
❻ チューニングアップ・ダウン/頭出し/早戻し・早送りボタン（∨・|◀◀/∧・▶▶|）........................ 21、22、25
❼ ファンクション切換ボタン .... 17、20
❽ ディスクブタ開閉ボタン（⏏ 開/閉）........................ 20
❾ リモコンセンサー........................ 16
❿ タイマー表示（TIMER（タイマー））........................ 42

背面

参照ページ

❶ AM アンテナ端子（AM ANTENNA（アンテナ））........................ 14
❷ FM ロッドアンテナ........................ 15
❸ 空冷ファン 16
❹ ヘッドホン端子........................ 44
❺ サブウーハー出力端子 47
❻ 音声出力端子（アナログ）........................ 15
❼ 音声入力端子（アナログ）........................ 15
❽ デジタル音声出力端子 47
❾ モニター出力端子（映像/S 映像）........................ 14
❿ AC 電源端子（AC INPUT（インプット））........................ 14

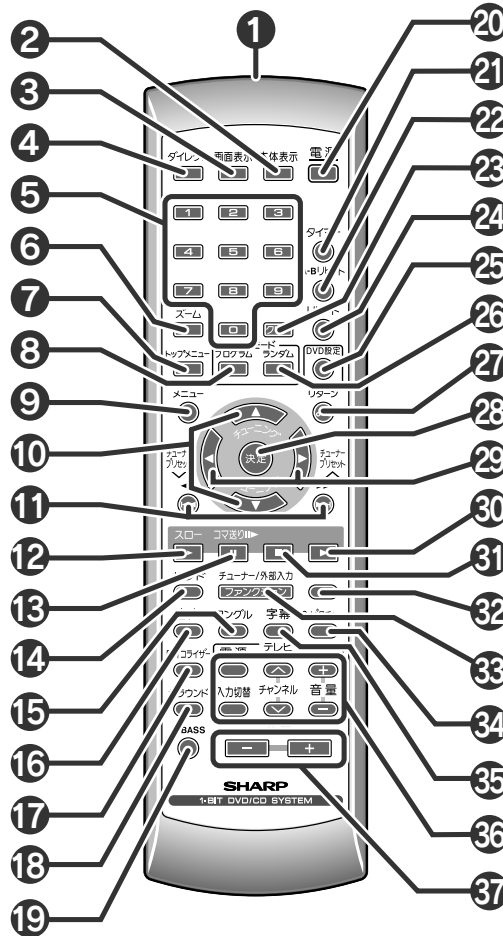
各部のなまえ（続き）

本体表示部

参照ページ

❶ ディスクフォーマット形式表示（MP3）...................... 30
❷ 音声入力信号表示（PCM）
❸ アングル表示（ANGLE）...................................... 32
❹ プログラム表示（PROGRAM）.............................. 28
❺ デイリータイマー再生表示（DAILY）....................... 42
❻ スリープ表示（SLEEP）...................................... 43
❼ ランダム再生表示（RANDOM）............................. 27
❽ A-B リピート / リピート / 1 曲リピート再生表示（A B / / 1）...................................... 27
❾ ワンスタイマー再生表示（ONCE）.......................... 42
❿ 入力切換表示（DVD/CD/TUNER / AUX）............ 22、45
⓫ FM ステレオ受信表示（ ST ）.............................. 22
⓬ FM ステレオモード表示（STEREO）....................... 22
⓭ 3D バーチャルサラウンド / サラウンド表示（V SURROUND/SURROUND）............................... 19
⓮ 再生表示（▶）
⓯ 文字情報表示 / 周波数表示 .... 20、22

リモコン

参照ページ

❶ リモコン送信部 16
❷ 本体表示切換ボタン .... 17、18、24
❸ テレビ画面表示切換ボタン 24
❹ ダイレクトボタン 26
❺ 数字入力ボタン 23
❻ DVD ズームボタン 33
❼ DVD トップメニューボタン 26
❽ プログラムボタン 28
❾ DVD メニューボタン 29
❿ カーソル / チューニングボタン ... 18、22
⓫ 頭出し / 早送り・早戻しボタン ...... 21、25
⓬ DVD スローボタン 25
⓭ 一時停止 /DVD コマ送りボタン ..... 21、25
⓮ バンド切換ボタン 22
⓯ DVD アングルボタン 32
⓰ DVD 音声切換ボタン 31
⓱ プリセットイコライザーボタン 19
⓲ サラウンドボタン 19
⓳ X-BASS（エキサイティングバス）ボタン 19

参照ページ

⓴ 電源ボタン 17
㉑ タイマーボタン 18
㉒ A-B リピートボタン 27
㉓ クリアボタン 23
㉔ リピートボタン .... 27、29
㉕ DVD 設定ボタン 34
㉖ CD ランダムボタン 27
㉗ リターンボタン 26
㉘ 決定ボタン 18
㉙ カーソル / チューナープリセット
アップダウンボタン .... 18、23
㉚ 再生ボタン .... 20、21
㉛ 停止ボタン 21
㉜ DVD ガンマ補正ボタン 32
㉝ ファンクション切換ボタン .... 22、45
㉞ DVD スーパーピクチャーボタン 32
㉟ DVD 字幕ボタン 31
㊱ テレビ操作ボタン 46
㊲ 音量調整ボタン 19

ディスクについて

■ 再生できるディスクについて

本機は、次のディスクを再生することができます。

DVD ビデオ	DVD-R	DVD-RW	音楽用 CD	音楽用 CD-R/CD-RW
NTSC 方式	NTSC 方式	NTSC 方式		
	ビデオモードで記録(※)	ビデオモードまたはVR モードで記録(※)		またはＭＰ３ファイル形式で記録されたCD-R/CD-RW(※)

(※) 記録した機器やディスクの状態、ディスクの特性、キズ、汚れ、または光ピックアップの汚れなどにより、正しく再生できないことがあります。

■ DVD-R/DVD-RW の再生について

・再生できる DVD-R は、ビデオモードで記録されているディスクです。
・再生できる DVD-RW は、ビデオモードまたは VR モード（ビデオレコーディングフォーマット）で記録されているディスクです。
・DVD-R/DVD-RW は、本機で再生する前に、記録したレコーダーでファイナライズを行ってください。
・ビデオモード、VR モード、ファイナライズ等 DVD-R/DVD-RW について、くわしくはレコーダーの取扱説明書をごらんください。
・DVD-RW (VRモード) でコピーコントロール情報のあるディスク (Ver. 1.1 CPRM 対応）では、正常に再生できない場合があります。

■ MP3 ファイル形式について

MP3 ファイルとは、MPEG1 オーディオレイヤー3というファイル形式で圧縮した音楽データのことです。MP3 ファイルには「.mp3」という拡張子がついています。(拡張子「.mp3」がついたファイルでも、MP3 ファイル形式で記録されていない場合は、ノイズが出たり再生できないことがあります。)

■ 再生できないディスクについて

本機では、次のディスクは再生できません。

・リージョン番号の「2」または「ALL」が含まれていない DVD (☞ P.13)
・PAL 方式の DVD
・SECAM 方式の DVD
・MPEG 音声の DVD
・DVD-ROM
・DVD-RAM
・DVD-Audio
・CDG
・ビデオ CD
・フォト CD
・CD-ROM
・SACD
・業務用など、特殊なフォーマットで記録されているディスク　など

・上記のものは、全く再生できないか、映像が出ても音が出ない、音が出ても映像が出ないことがあります。
誤って再生すると、大音量によってスピーカーを破損したり、ヘッドホン使用時は聴力障害の原因となることがあります。絶対に再生しないでください。
・本機でDTS方式のディスクをそのまま再生すると、映像は表示されますが、音声は出ません。
音声を聞くためには、「音声言語の設定」を DTS 方式以外の音声出力に設定してください。(**☞ P.31****)**
・本機はNTSC方式に適合した機器です。海外で製造されたディスクには再生できないものがあります。ご購入の際は、記録方式を確認してください。
・正式な販売地域以外のディスクなど、規格を満たさない物があります。そのようなディスクは再生できません。
・DVDによっては、ディスク側の制約により、本書の操作説明どおりの動作をしないことがあります。ディスクのジャケットなどもごらんください。

■ コピーコントロール CD について

ディスクレーベル面に左記マークの入ったものなど、JIS規格に合致したディスクをご使用ください。

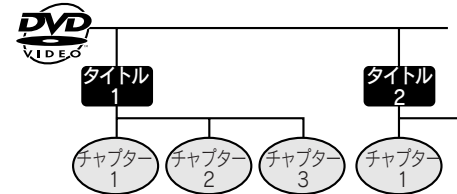
本機は、CD 規格（コンパクトディスクデジタルオーディオ）に準拠していない「コピーコントロール CD」などについて動作や音質を保証できません。このような特殊なディスクのみに支障がある場合には、ディスクやパッケージ、印刷物などの表示をよくお読みの上、詳細についてはディスクの発売元へお問い合わせ願います。

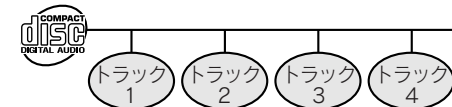
■ DVDに表示されているマークについて

DVDのケースに記載されている機能マークを確認のうえお楽しみください。

表示例		内　容
リージョン番号（再生可能地域番号） 2・1 2 6・ALL		DVDは、販売される国により、再生できるディスクが決められています。その再生できるディスクの番号を、リージョン番号といいます。 本機で再生できるのは「2」（または「2」を含むもの）と「ALL」の表示があるディスクです。
DVDに記録されている画面サイズ		接続するテレビの種類「ワイドテレビ」や「4:3のテレビ」に応じた画面サイズが選べます。
	4:3	4：3の画面サイズで記録されています。
	16:9 LB	ワイドテレビではワイド画像を、4:3のテレビではレターボックスサイズ画像を楽しめるように記録されています。
	16:9 PS	ワイドテレビではワイド画像を、4：3のテレビでは左右をカットした4:3の画像を楽しめるように記録されています。
字幕の種類 2 （例） 1：日本語字幕 2：英語字幕		記録されている字幕言語を表しています。 字幕ボタンで好みの字幕が選べます。
アングル数 2		DVDに記録されているアングル数が表示されています。 アングルボタンで好みのアングルが選べます。
音声トラック数や音声記録方式 2 （例） 1:オリジナル<英語> （ドルビーデジタル5.1ch サラウンド） 2:日本語 （ドルビーデジタル2ch）		音声のトラック数や音声の記録方式を表しています。 ・DVDに記録されている音声を音声切換ボタンで切り換えることができます。 ・記録されている音声や音声の記録方式は、DVDによって異なります。DVDの取扱説明書で確認してください。

● タイトル・チャプターについて

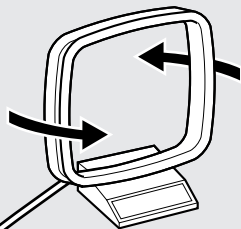
DVDは、「**タイトル**」と「**チャプター**」に区切り、構成されています。
タイトルとは、例えば複数の映画が入っているディスクで各映画ごとをさします。チャプターとは、「タイトル」をさらに細かく分けたものです。

● トラックについて

CDは、「**トラック**」に区切り、構成されています。
トラックとは、例えば複数の音楽が入っているCDで各曲ごとをさします。

お知らせ
ディスクによっては、タイトル・チャプター・トラックの番号が記録されていないものがあります。

アンテナ、テレビ、電源コードを接続する

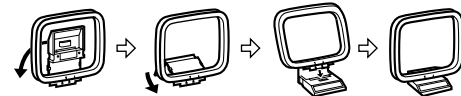
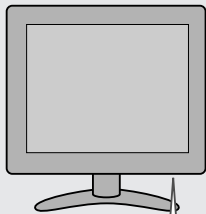
接続するときは、各機器の電源を切った状態で行ってください。

1 AM 用ループアンテナをつなぐ

AM用ループアンテナは、本体や電源コードから離してください。近づけて使用すると、雑音が入ることがあります。

AM 用ループアンテナの組み立てかた

壁に取り付けることができます

壁

ネジは付属していません。

テレビ（市販品）

映像入力端子へ

S映像入力端子へ

映像コード（付属品）

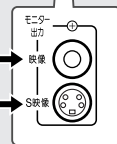
S映像コード（市販品）

モニター出力

映像

S映像

AC INPUT

家庭用コンセントへ
(100V AC, 50/60Hz)

2 テレビにつなぐ

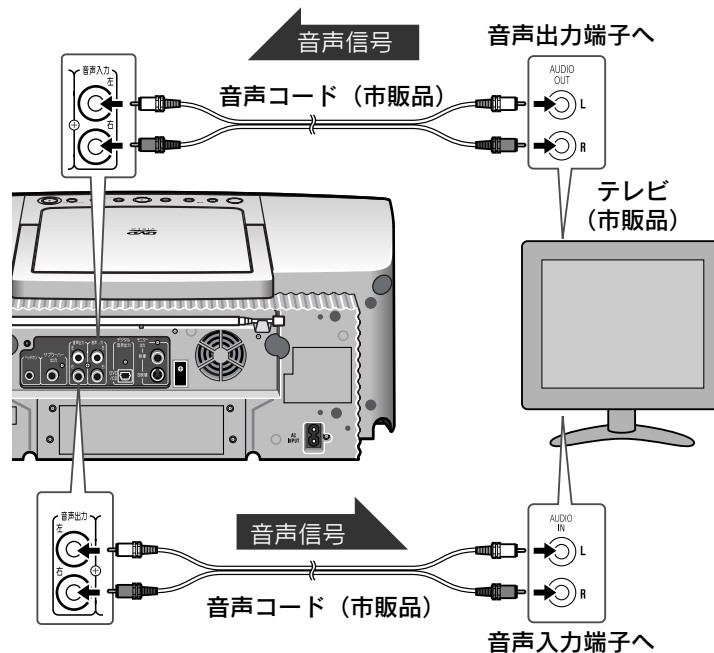
映像コードとS映像コードは、どちらか一つを接続すれば、映像を楽しむことができます。

テレビにS映像入力端子があるときは、S映像コードで接続すると、よりきれいな映像を楽しむことができます。
（S映像コードは付属されていません。市販品をお買い求めください。）

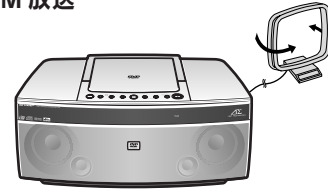
3 電源コードをつなぐ

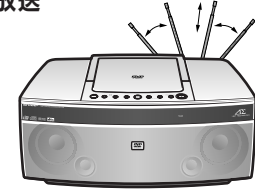
電源コードをAC電源端子へ差し込み、家庭用コンセントに差し込んでください。

テレビの音声をつなぐには

音声コードを接続すると､テレビの音声をこの製品のスピーカーで聞くことができます。（音声入力端子（アナログ）に接続）
また、DVD などの音声をテレビのスピーカーで聞くことができます。（音声出力端子（アナログ）に接続）

- 音声コードは付属されていません。
- 抵抗の入っている音声コードを使うと、音が小さくなります。
  抵抗の入っていない音声コードをお買い求めください。
- テレビ音声の聞きかたは、45 ページをごらんください。

■ アンテナを調整するには

AM 放送

AM 用ループアンテナで調整します。
アンテナはできるだけ本体から離れた位置で、方向を変えてください。

FM 放送

FM ロッドアンテナで調整します。
長さや方向を変えてください。

■ 電源コードをつなぐときのご注意

- **付属品以外の電源コードは絶対に使用しないでください。**
  故障や事故の原因となります。
- 電源コードを抜くときは、電源を切ってからプラグを抜いてください。

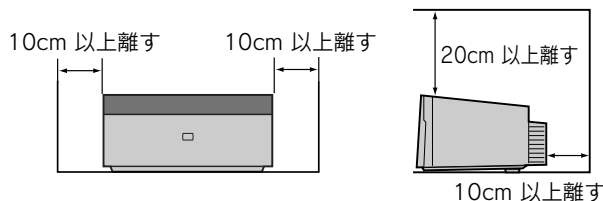
■ 節電のために

- 旅行などで長時間使用しないときは、電源コードをコンセントから抜いておきましょう。
  電源を切っていても、わずかですが電力を消費しています。
- 電源コードを抜くと、時計が止まり、1 日以上たつと登録した放送局などが消えますので、再度合わせ直してください。

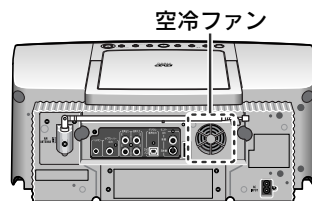
お知らせ

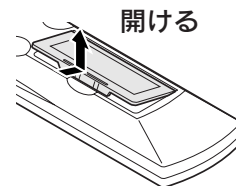
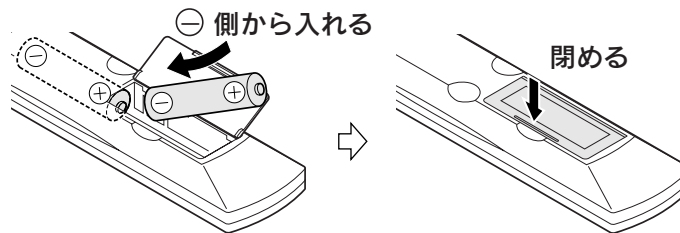
- 映像コードと S 映像コードを同時に接続すると、通常のテレビでは S 映像端子が優先されます。
- テレビ側の入力は、接続した端子に合わせて切り換えてください。
- 本機とテレビの間には、他の機器を接続しないでください。
  ビデオなどを経由して接続すると、画像が乱れることがあります。

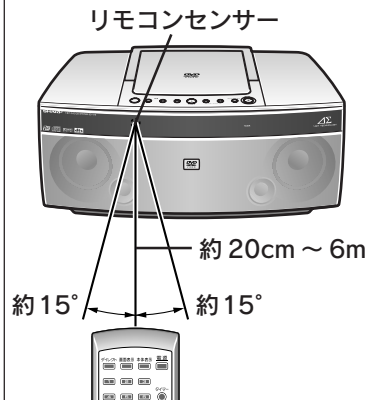
■ 置きかたについて

この製品の背面、側面は熱くなります。放熱をよくするため、壁から 10cm 以上離して置いてください。

- この製品は、5℃～35℃の場所でお使いください。
- この製品の近くで携帯電話を使用すると、この製品が誤動作することがあります。また、携帯電話やこの製品に雑音が入ることがあります。
- 本機のスピーカーは防磁対応されていますので、テレビの前や横に置くことができます。しかし、使うテレビによってはテレビ画面に色ムラが生じることがあります。
  テレビ画面に色ムラがおきたら、いったんテレビの電源を切り、15～30分後に再び電源を入れてください。
  それでも色ムラが残るときは、本機をさらにテレビから離してください。(くわしくは、テレビの取扱説明書をごらんください。)
- この製品をテレビ･パソコンなどの機器の近くで使用すると、それらの機器やこの製品に雑音が入ることがあります。そのときは、それらの機器の電源を切るか、この製品との距離をできるだけ離してください。
- 振動しやすい場所で使ったり、本体に衝撃を与えると、音とびを起こすことがあります。安定した場所でお使いください。
- **製品を移動させるときは、必ずディスクを取り出してください。ディスクが製品の中につまって、故障の原因となることがあります。**

■ 空冷ファンについて

放熱をよくするために空冷ファンを内蔵しています。
この空冷ファンは、電源を入れると自動的に回転するようになっています。
ファンの部分を物でふさがないように注意してください。

リモコンに乾電池を入れる

❶ フタを開ける。

❷ 単３乾電池を２本入れる。

- 乾電池の方向に注意して入れてください。
  ⊕ ⊖ をまちがえると、故障の原因となります。
- リモコンには充電池（ニカド電池など）を使用しないでください。
  充電池では正しく動作しません。

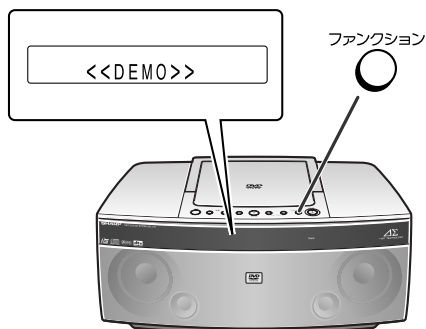
リモコンの使える範囲（目安）

リモコン用乾電池の寿命は通常のご使用で約 1 年です。
リモコンセンサーに近よらないと動作しなくなったときは、乾電池を交換してください。

- リモコンセンサーに強い光があたる場所では使用しないでください。
  誤動作の原因となります。
- リモコンセンサーや送信部にシールなどを貼ったり、本体とリモコンの間には障害物などを置かないでください。
  リモコン操作ができなくなることがあります。

デモ表示の設定と解除

電源を切ったときに、表示部が自動的に点灯し、いろいろな表示内容に変わることをデモ表示と呼びます。
お買いあげ時は、デモ表示は解除されています。

■ デモ表示にするには

電源が切れているときに…
[ファンクション]を２秒以上押す。

■ デモ表示を解除するには

デモ表示中に…
[ファンクション]を押す。

お知らせ………………………………………………………………

- [電源] を押して電源を入れた状態では、デモ表示に設定することはできません。
- デモ表示中に、[電源] を押すと、デモ表示は消えます。
  もう一度 [電源] を押すと、デモ表示に戻ります。

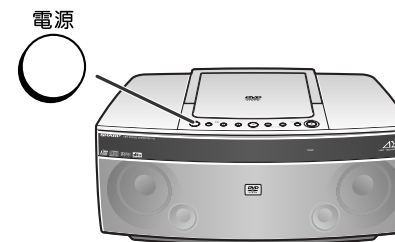
電源を入れる

■ 電源を入れるには

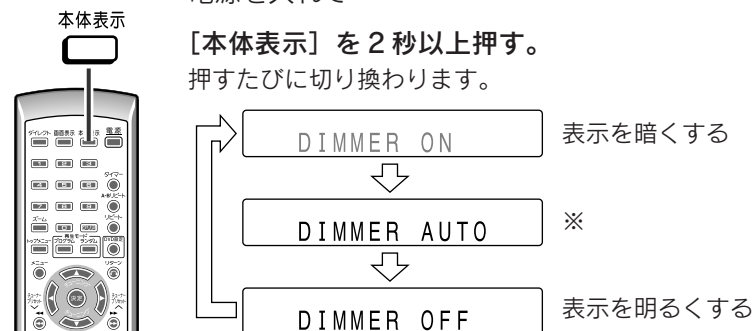
[電源] を押す。

■ 電源を切るには

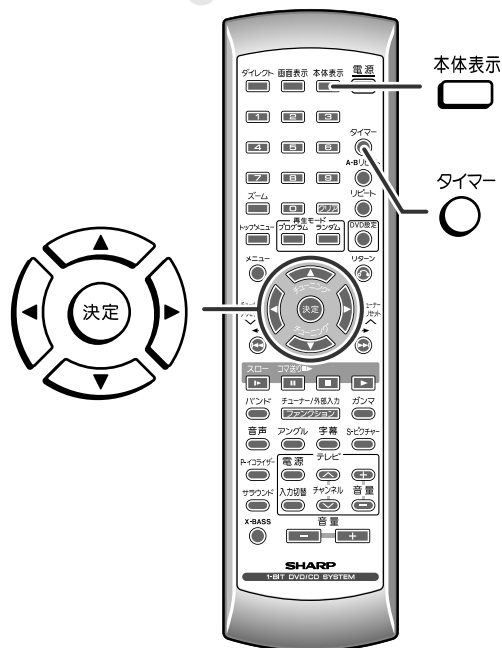
もう一度、[電源] を押す。

- 電源が入らないときは、電源コードが正しくつながっているか、リモコンの乾電池が正しく入っているか、確認してください。
- 電源を切ったあとの2～3秒は、すぐに電源が入りません。

■ 表示部の明るさを変えるには

電源を入れて…

[本体表示] を２秒以上押す。
押すたびに切り換わります。

※ DVDの入力のとき、再生を始めて約5秒間は表示が明るくなっています。
その後、表示が暗くなります。
DVD の入力で DVD が停止しているときや、DVD 以外の入力のときは、表示が明るくなります。

時計を合わせる

時刻を合わせると、時計としてはもちろん、タイマー再生ができるようになります。

1 電源を入れて（☞ P.17）…
タイマー **を押す。**

2 5秒以内に…
▲ または ▼ を押して、“TIME ADJUST（タイム アジャスト）” を選ぶ。

TIME ADJUST

3 10秒以内に…
決定 **を押す。**

CLOCK AM 0:00

4 ◀ または ▶ を押して、“時” を合わせ、決定 を押す。

CLOCK AM 9:00
「時」「分」

時刻は12時間制で表示されます。午前（AM）／午後（PM）の表示に注意してください。
AM 0：00→夜の12時　PM 0：00→昼の12時

• **同じように、「分」を合わせます。**
時計が動作し始め、約3秒たつと、もとの表示に戻ります。

■時刻を確認するには

電源が切れているときは…
［本体表示］を押す。
時刻が表示されて、約5秒たつと消えます。

電源が入っているときは…
1.**［タイマー］**を押す。
2.5秒以内に、▲ または ▼ を押して、時刻を表示させる。
約10秒たつと、もとの表示に戻ります。

■時刻を修正するには

操作❶からやり直してください。このとき、操作❷では “TIME ADJUST（タイム アジャスト）” のかわりに現在の設定時刻が表示されます。

お知らせ.....................
電源コードを抜いたり、停電があったときなどは、時計の設定は消えてしまいます。
時計を合わせ直してください。

音量や音質を調整する

音の広がりを設定する

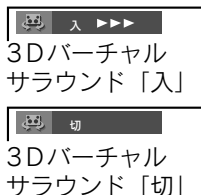
（3Dバーチャルサラウンド）

ドルビーデジタル音声が記録されているDVDを再生するときに楽しめます。
2つのスピーカーで、立体的な広がりのあるサラウンドが楽しめます。

① 再生中に… サラウンド を押す。

- 押すたびに「入」、「切」が切り換わります。
- 「入」を選んだときは、本体表示部に“V SURROUND”（バーチャル サラウンド）が点灯します。

テレビ画面表示

3Dバーチャルサラウンド「入」

3Dバーチャルサラウンド「切」

② 10秒以内に… ◀ または ▶ を押して、レベルを設定する。

（強）（中）（弱）

（サラウンド）

2チャンネルで記録されているDVDまたは、CDを再生するときやラジオを聞くときに楽しめます。

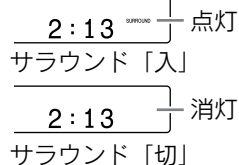
停止中または再生中に…

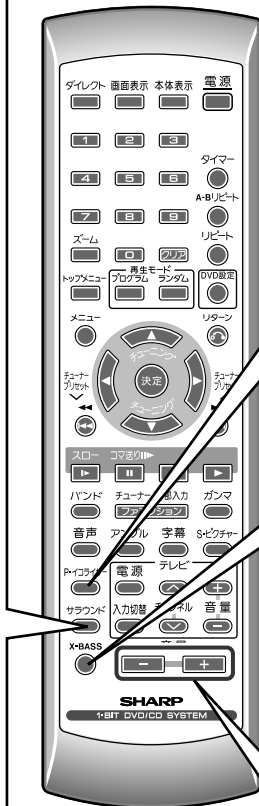
サラウンド を押す。

押すたびに「入」、「切」が切り換わります。

本体表示

2:13 SURROUND — 点灯
サラウンド「入」

2:13 — 消灯
サラウンド「切」

お知らせ

- ドルビーデジタル出力レベルが「シフト」に設定してあるときは、3Dバーチャルサラウンドは働きません。（☞ P.35）
- ヘッドホンを接続しても、**「3Dバーチャルサラウンド」**は働きます。
  ただし、ふつうの**「サラウンド」**の場合は、**サラウンド**の効果音は得られません。

音質を変える（プリセットイコライザー）

P-イコライザー を押す。

1回押すと現在の設定を表示し、表示中に続けて押すと、切り換わります。

フラットな音質	低音と高音を強調する音質
FLAT	HEAVY
ボーカル（中域）を強調する音質	高音を抑えた音質
VOCAL	SOFT

お知らせ

3Dバーチャルサラウンド/サラウンドを設定すると、プリセットイコライザーは“FLAT”（フラット）になります。また、プリセットイコライザーを設定すると、3Dバーチャルサラウンド/サラウンドの設定は解除されます。

重低音を強調する（エキサイティングバス）

X-BASS を押す。

1回押すと現在の設定を表示し、表示中に続けて押すと、切り換わります。

強調する	強調しない
X-BASS ON	X-BASS OFF

音量を調整する

音量 − + を押す。

VOLUME 20

音量0（小）～音量40（大）

お知らせ

- ディスクの内容によっては、音量の上げすぎで音とびをおこすことがあります。そのときは、音量を下げてお聞きください。
- 音量を上げすぎると、保護回路が働き、電源が切れることがあります。このようなときは、音量を下げてください。
- 本体の音量ボタンでも操作することができます。

DVD (CD) を再生する

- ご使用のテレビがワイドテレビのときは、映像出力設定を16：9に変更してください。（☞ P.35）
- テレビの電源を入れ、本機との接続に合わせてテレビの入力を「ビデオ 1・ビデオ 2」などに設定してください。

1 電源を入れたあと…

ファンクション ○ を押して、

入力を「DVD/CD」にする。

DVD/CD

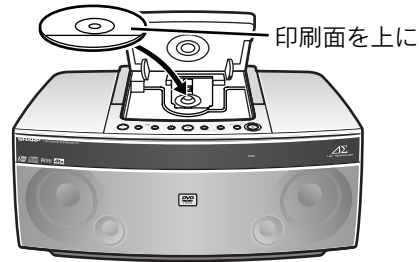
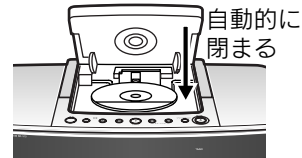
または、リモコンの ■ を押す。

2 開/閉 ⏏ を押して、

DVD(CD)を入れる。

ディスクブタが開きます。

3 開/閉 ⏏ を押す。

自動的に閉まる

- オートプレイのディスクを入れたときは、再生が始まります。
- ディスクブタが開いているときに [▶] を押すと、ディスクブタが閉じて再生が始まります。

4 ▶ を押して、

再生を始める。

例）DVD の場合

音量や音質などを調整する（☞ P.19）

DVD(CD)の再生中にできる操作

動作	本体	リモコン	操作
停止する	■	■	1回押すと“RESUME(リジューム)”が表示されます。もう1回押すと、停止状態になります。
			1回押して“RESUME(リジューム)”が表示されたあとに、[▶] を押すと、停止した位置から再生されます。**(つづき再生)**
一時停止する		II	**再生中に押す。** [▶] を押すと、止めた位置から再生します。
チャプター・トラックの頭出しをする(スキップ)	⏮ ⏭	⏮ ⏭	DVDのとき **再生中に押す。**
			CDのとき **再生中または、停止中に押す。** 停止中に聞きたいトラックを選んだあと、再生を始めるとその曲から再生します。

DVD(CD)の取り出しかた

❶ DVD(CD)を停止させたあと、(開/閉)を押す。

❷ DVD(CD)を取り出す。

❸ (開/閉)を押して、ディスクブタを閉じる。

ディスクブタは電動で開閉しますので、手で開けたり、閉めたりしないでください。
故障の原因となります。
また、開閉中に指などをはさまないように注意してください。

本機でDTS方式のディスクをそのまま再生すると、映像は表示されますが、音声は出ません。
音声を聞くためには、「音声言語の設定」をDTS方式以外の音声出力に設定してください。(☞ P.31)

- ディスクを2枚またはそれ以上入れないでください。
- ディスクにキズがあったり、再生できないディスクを入れたときや、リージョン番号の違うディスクを再生しようとしたとき、視聴制限(※1)により制限されたディスクを再生しようとすると、エラーメッセージがテレビ画面に表示され、再生されません。
  (※1) DVDの中には、視聴者の年齢に合わせて、ディスクを見るための制限をしているものがあります。

お知らせ

- DVDによっては、ディスク側の制約により、本書の操作説明どおりの動作をしないことがあります。
  ディスクのジャケットなどもごらんください。
- DVD-R・DVD-RW・CD-R・CD-RWの再生は、録音した機器やディスクの状態によって、正しく再生できないことがあります。
  そのときは、DVD-R・DVD-RW・CD-R・CD-RWを録音する機器の録音／記録スピードや、使用するディスクを換えてみると、再生可能になることがあります。
  くわしくは、録音する機器の取扱説明書をごらんください。
- ディスクによっては、停止位置が記録されているものがあります。
  このようなディスクを再生すると、記録されている位置で自動的に停止します。
- 操作中、テレビ画面に「⊘」マークが表示されることがあります。
  これは、ディスク側で操作を禁止していることを表します。
- 電源を入れたときや、他の入力から「DVD/CD」に切り換えたときは、本機がディスクの初期設定を行っていますので、数秒間は操作を受け付けません。

ラジオ放送を聞く

テレビ音声は次の周波数で受信できます。
1チャンネル　：FM 95.75MHz
2チャンネル　：FM 101.75MHz
3チャンネル　：FM 107.75MHz

1 電源を入れたあと…

ファンクションを押して、入力を「TUNER（チューナー）」にする。

TUNER
FM 76.0

2 （バンド）を押して、"FM STEREO（ステレオ）"、"FM" または "AM" を選ぶ。

3 （チューニング）を押して、放送局を選ぶ。

自動同調：
ボタンを0.5秒以上押し続けて離すと、電波の強い放送局を自動的に受信します。

手動同調：
ボタンを小きざみに押して、希望する放送局を受信します。

FMステレオ放送を受信するには

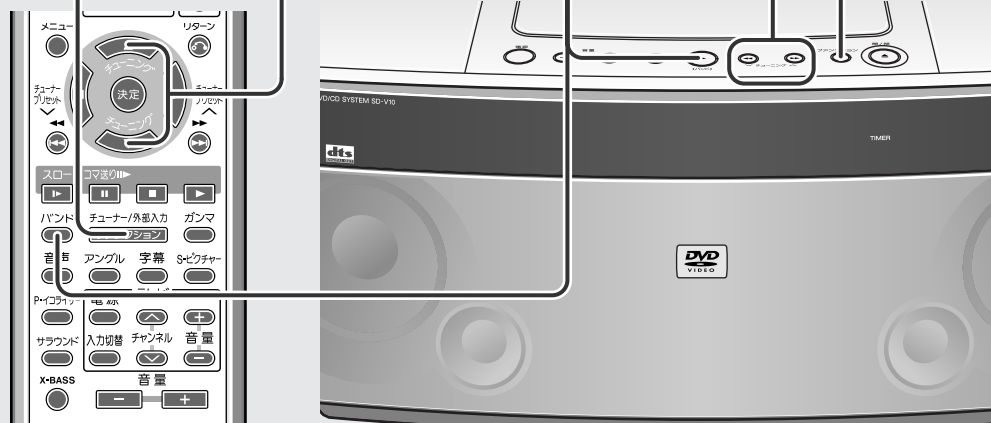
（バンド）を押して、"STEREO（ステレオ）"を点灯させる。

STEREO（点灯）	FMステレオモード
STEREO（消灯）	FMモノラルモード

FMステレオ放送を受信すると"ST"が点灯します。

76.0　FMステレオ受信表示　FMステレオモード表示

FMステレオ放送を受信しても電波が弱いと"ST"が点灯しません。
このときは、音が出ませんので、FMモノラルモードに切り換えてください。

音量や音質などを調整する（☞ P.19）

お知らせ

- 自動同調しているとき、周囲に妨害電波があると、そこで停止することがあります。
  そのときは、手動同調をお使いください。
- この製品のテレビ音声受信回路は、FM放送受信回路と兼用しています。
  このため、地域によっては、テレビの2または3チャンネルの音声を受信したときに、FM放送が混信することがあります。
- テレビ音声多重放送は受信できません。
- テレビ音声やAM放送は、モノラルで受信されますので、ステレオにはなりません。
- テレビ音声を受信中に"ブー"という音がしたり、同調が不安定になったときは、アンテナを調整したり、置き場所を変えてください。

放送局を登録する

AM放送・FM放送を合わせて、40局まで登録できます。

1

登録したい放送局を受信したあと…

(決定)を押して、登録モードにする。

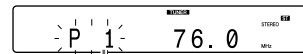
P 1 76.0

FM放送のときは、ステレオ・モノラルのモードも記憶されます。

2

5秒以内に…

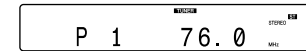
(◀)または(▶)を押して、登録する番号を選ぶ。

P 1 76.0

登録する番号

3

5秒以内に…

(決定)を押す。

P 1 76.0

すでに登録されている番号に登録すると、前の登録内容は消えます。

他の放送局を登録するには、操作1からの手順をくり返します。

■ 登録した放送局を呼び出すには

[1]～[0]で登録した番号を入力し、［決定］を押す。

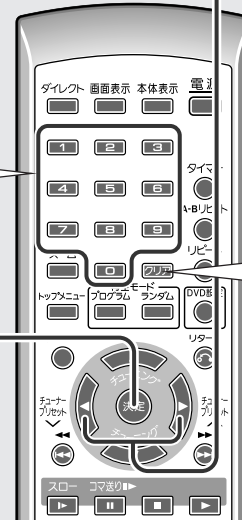
P 1 78.0

登録した番号

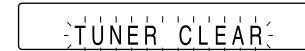
（例）28局目

［2］［8］→［決定］

- ボタンを続けて押すときは、5秒以内に操作してください。
- 入力をまちがえたときは［**クリア**］を押したあと入力し直してください。

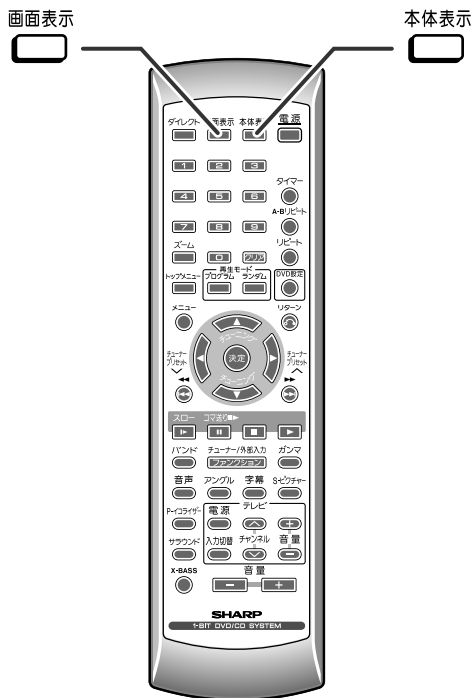
(◀)または(▶)を押して、呼び出すこともできます。

■ 登録した放送局をすべて消すには

1. **[クリア]**を3秒以上押す。

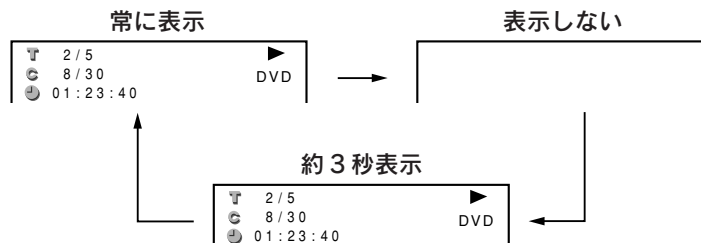
TUNER CLEAR

2. 10秒以内に、**[決定]**を押す。

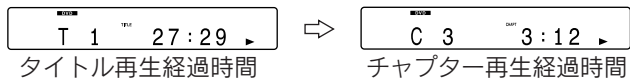
ご注意

一日以上電源コードを抜いていたり、停電があると、登録した放送局は消えます。そのときは、もう一度登録し直してください。

テレビや本体の表示内容を切り換える

■ テレビ画面の表示を切り換える

再生中に… 画面表示 を押すたびに、切り換わります。

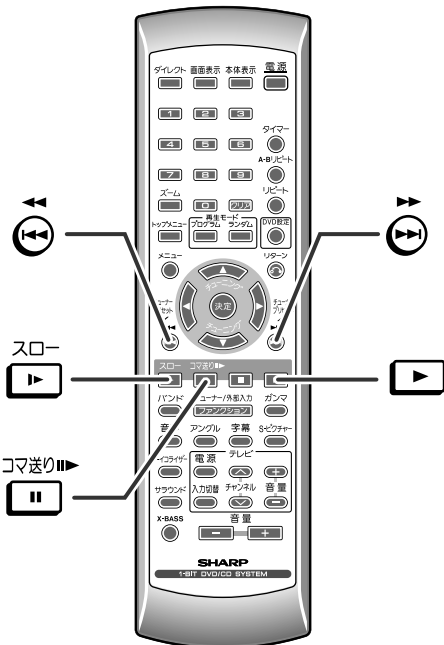
例）DVD の場合

■ 本体表示部の表示内容を切り換える

再生中に… 本体表示 を押すたびに、切り換わります。

お知らせ

- ディスクによってはタイトル番号、チャプター（トラック）番号、再生経過時間を表示しないものがあります。
- ジャケットなどに記載されている再生時間には、チャプター（トラック）、曲間の無音時間が含まれていないものもあります。そのため、この製品での表示内容と合わないことがあります。
- 再生中の経過時間の表示は、実際の時計の時間と異なることがあります。

よく使う操作

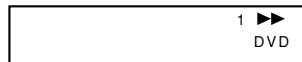
DVD …DVDで使用できる機能を表しています。　CD …CDで使用できる機能を表しています。

再生しているところを確認しながら早送り/早戻し（サーチ）することができます。
画像を静止させることができます。（静止画再生）
また、静止画再生のときは、コマ送りすることもできます。（コマ送り再生）
再生する速度を遅くさせることができます。（スロー再生）

■ 早送り/早戻しをする（サーチ）

DVD CD

1 再生中に… ⏮または⏭を2秒以上押す。

例）［▶▶］を押したとき
テレビ画面

1 ▶▶
DVD

- 押すたびに、次のようにサーチ速度が変わります。
  1（約2倍速）→2（約8倍速）→3（約32倍速）
- 1（約2倍速）で早送りサーチ時のみ、音声が出ます。
- ⏭で進み、⏮で戻ります。
- 本体の⏮または⏭で操作することもできます。

■ **通常の再生に戻すには**
［▶］を押す。

お知らせ
- ディスクによっては、サーチが禁止されているものがあります。
- DVDではタイトルをまたぐサーチはできません。
- DVDのサーチ中は、1（約2倍速）で早送りサーチ時のみ字幕が再生されます。
- DVDの再生中にサーチをしたとき、ディスクや再生しているシーンによっては、映像が本書に記載のサーチ速度にならないことがあります。

■ 静止画/コマ送りで見る（静止画再生/コマ送り再生）

DVD

1 再生中に… コマ送り［Ⅱ］を押す。
静止画再生になります。

2 静止画再生中に… コマ送り［Ⅱ］を押す。
押すたびに、コマ送りされます。

■ **通常の再生に戻すには**
［▶］を押す。

お知らせ
ディスクによっては、静止画再生やコマ送り再生が禁止されているものがあります。

■ スローモーションで見る（スロー再生）

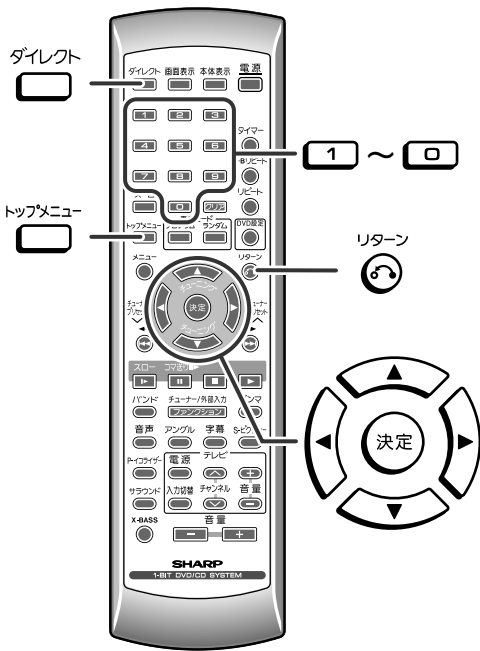
DVD

1 再生中に… スロー［I▶］を押す。
押すたびに、次のようにサーチ速度が変わります。
1（約1/2倍速）→2（約1/8倍速）→3（約1/16倍速）

■ **通常の再生に戻すには**
［▶］を押す。

お知らせ
ディスクによっては、スロー再生が禁止されているものがあります。

ディスクの中を選んで再生する（ダイレクト再生／タイムサーチ／トップメニューから選ぶ）

好きなタイトル（トラック）やチャプターを選んで再生（ダイレクト再生）したり、時間を指定して再生（タイムサーチ）することができます。
複数のタイトルが入っているDVDでは、トップメニューからタイトルを選ぶことができます。

■ タイトル（トラック）やチャプター、時間を指定して再生する（ダイレクト再生／タイムサーチ）

DVD CD

❶ タイトル（トラック）を選ぶ（ダイレクト再生）

再生中に… ダイレクト を押す。

例）DVD再生中の表示
T - - / 5
C 8 / 30
01 : 23 : 40

チャプターを選ぶ（ダイレクト再生）

再生中に… ダイレクト を2回押す。

T 3 / 5
C - - / 30
01 : 23 : 40

時間を指定する（タイムサーチ）

（DVDの場合）
再生中に… ダイレクト を3回押す。
（CDの場合）
再生中に… ダイレクト を2回押す。

T 3 / 5
C 8 / 30
00 : - - : - -

❷ 10秒以内に… 1 ～ 0 **で入力し、決定を押す。**

- タイムサーチをするとき、1時間23分40秒を指定するには、「012340」と入力してください。
- 数字をまちがえたときは、▲ または ▼ を押し、再度入力をしてください。
- 途中でやめるときは、リターン を押します。

■ 指定のしかた

例）28曲目
2 8 → 決定

お知らせ
- ディスクによっては、この操作ができないことがあります。
- ディスクによっては、チャプター番号が表示しないものがあります。
- CDをダイレクト再生するときは、操作❷だけで再生できます。
- **[1]～[0]ボタン**のかわりに、◀、▶、▲ または ▼ を押しても選ぶことができます。
- タイトル（トラック）をまたぐタイムサーチはできません。
- プログラム再生中は、この操作はできません。

■ ディスクのトップメニューからタイトルを選ぶ

DVD

❶ 停止中や再生中に…
トップメニュー **を押す。**

トップメニュー画面の例

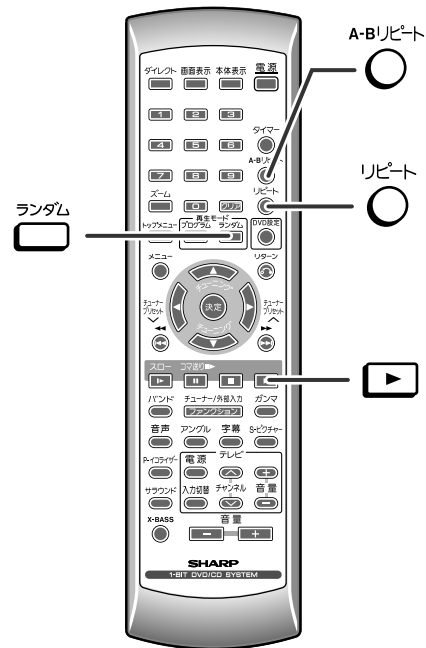
1 ドラマ	2 アクション
3 SF	4 コメディー

❷ ◀、▶、▲ または ▼ を押してタイトルを選び、決定 を押す。

- 選んだタイトルが再生されます。
- ディスクによっては、1 ～ 0 を押してタイトルを選ぶこともできます。

お知らせ
- 左記の手順は、基本的な操作手順です。
DVDによっては手順が異なりますので、DVDの取扱説明書や画面に表示される手順に従って操作してください。
- DVDにトップメニューが記録されていないときは、トップメニューは表示されません。

くり返して再生する・順不同で再生する (A－Bリピート再生／リピート再生・ランダム再生)

指定した位置間をくり返して再生(A-B リピート再生)することができます。
タイトル、トラック、チャプターなどを選んで、くり返し再生(リピート再生)することもできます。
またCDでは、順不同で再生(ランダム再生)することができます。

■ 指定した位置間をくり返して再生する (A-Bリピート再生)

DVD CD

❶ 再生中に… A-Bリピート を押す。
くり返したいはじめの位置(A)が登録されます。

❷ もう一度… A-Bリピート を押す。
- くり返したい終わりの位置(B)が登録され、A－B間がくり返して再生されます。
- CDをA-Bリピート再生するときは、本体表示を見ながら登録することができます。
- もう一度 A-Bリピート を押すと、通常再生に戻ります。

A ⇄ B 点灯

お知らせ
- ディスクによっては、A-Bリピート再生が禁止されているものがあります。
- A-Bリピート再生は同じタイトル／トラックの中で行ってください。
- 終わりの位置(B)を設定する前にタイトル／トラックが終了した場合は、そこが終わりの位置(B)になります。
- プログラム再生中は、A-Bリピート再生はできません。

■ くり返して再生する (リピート再生)

DVD CD

❶ 再生中に… リピート を押す。
押すたびにリピート再生モードは次のように変わります。
(テレビ画面表示)

DVD の場合
「C ⟲(チャプター)」→「T ⟲(タイトル)」→「消灯(通常再生)」

CD の場合
「T ⟲(トラック)」→「◎ ⟲(ディスク)」→「消灯(通常再生)」

CD のプログラム再生中に "REPEAT"(リピート)(本体表示)を選ぶと、プログラム再生がくり返されます。

ご注意
リピート再生は、止めるまで続きます。
お聞きになったあとは、必ず停止してください。

お知らせ
- ディスクによっては、リピート再生が禁止されているものがあります。
- DVDのプログラム再生中はリピート再生はできません。
- リピート再生中に、他のボタンを押すとリピート再生が解除されることがあります。

■ 順不同で再生する (ランダム再生)

CD

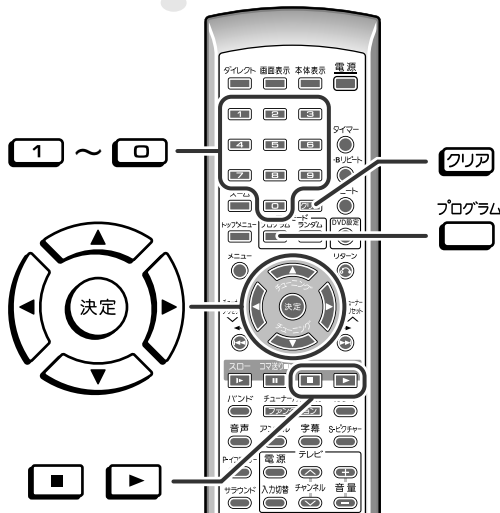
❶ 停止中に… ランダム を押す。

本体表示 RANDOM 点灯

❷ ▶ を押す。
もう一度 ランダム を押すと、ランダム再生を解除することができます。

お知らせ
- 全曲を順不同に再生したあと、自動的に停止します。
- プログラム再生中は、ランダム再生はできません。
- ランダム再生中に、他のボタンを押すとランダム再生が解除されることがあります。
- ランダム再生は、この製品が自動的に曲を選んで再生します。(自分で選曲できません。)

好きな順に再生する（プログラム再生）

好きなDVDのチャプターまたはCDのトラック順に再生することができます。最大24件まで登録することができます。
（タイトルを好きな順に再生することはできません。）

■ **登録内容を追加するには**

❶〜❸の操作をします。
前に選んでいる番号のあとに、追加されます。

■ **登録内容を取り消すには**

全ての番号を取り消すときは、確定エリア内にカーソルを移動して、クリア を3秒以上押します。
（ディスクを一度取り出しても取り消すことができます。）

❶ ディスクを入れたあと… ■ **を押す。**

❷ 停止中に… プログラム **を押す。**

プログラム画面が表示されます。

例）DVD プログラムの表示

❸ **（CD のプログラムをするとき）**

▲ または ▼ を押して、再生したいトラック番号を選び、決定 を押す。

DVD-VIDEO プログラム
T : 1　T : 1
C 1　1 : C 1
C 2　2 : C
C 3　3 : C
C 4　4 : C
C 5　5 : C
C 6　6 : C
選択エリア　確定エリア

（DVD のプログラムをするとき）

1. ▲ または ▼ を押して、タイトル番号を選び、決定 を押す。

2. ▲ または ▼ を押して、再生したいチャプター番号を選び、決定 を押す。

- 確定エリアにトラックまたはチャプターが登録されます。
- 引き続き別のトラック番号またはチャプター番号を登録するときは、くり返し操作します。
- 番号をまちがえたときは、▶、▲ または ▼ を押して確定エリア内の取り消したい番号を選び、クリア を押します。選択エリアにもどるときは ◀ を押します。
- CD をプログラム再生するときは、本体表示を見ながら登録することができます。

プログラム表示
PROGRAM　CD　TRACK　7　P 1
トラック番号　プログラム番号

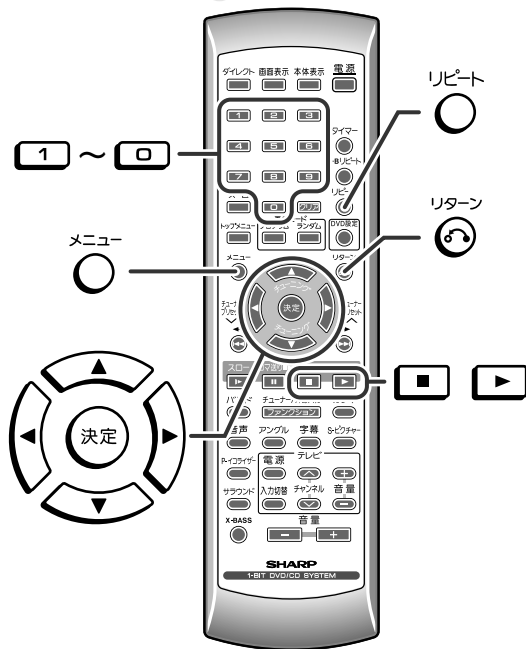
❹ ▶ **を押す。**

登録した順番で再生したあと停止します。
ディスクを取り出すまで、登録内容を覚えています。

お知らせ

- ▲ や ▼ のかわりに、**[1]〜[0]ボタン**を押してもタイトル（トラック）番号やチャプター番号を選ぶことができます。
- **[1]〜[0]ボタン**でディスクに記録されていないタイトル（トラック）番号やチャプター番号を入力しても登録されません。
- **[1]〜[0]ボタン**で同じトラック／チャプターを登録するときは、追加登録するごとにそのトラック／チャプター番号を入力して［**決定**］を押してください。
- 再生中や一時停止中に登録することはできません。
- タイトル（トラック）やチャプターが記録されていないディスクやプログラム再生が禁止されているディスクでは、プログラム再生することはできません。
- 登録を途中で止めるときは、［**プログラム**］を押してください。
- 同じディスクでもう一度プログラム再生するときは、［**プログラム**］を押したあとで［▶］を押してください。
- 別のタイトルのチャプターを同時に登録することはできません。

DVD-RW（VR モード）を再生する

VR モード（ビデオレコーディングフォーマット）で記録された DVD-RW を再生するときは、画面に表示された映像から選んで再生することができます。（ディスクナビ）

■ 映像から選んで再生する（ディスクナビ）

1 DVD-RW（VR モード）を入れたあと…

■ を押す。

ここで ▶ を押した場合、1 番目のタイトルから再生が始まります。

2 メニュー ○ **を押す。**

タイトル名
タイトル番号
タイトル映像

```
ディスクナビ (ORG)               1/ 2
No.    Date       Title
       Time
 1    08/21      8/21   0:10A
      00:10     M    8CH  SP
 2    10/01     ***IV  ****  *
      00:55     *10/01   0:55
 3    12/20     12/20  01:30A
      01:30     M      9ch  MN3
```

- ディスクナビ画面が表示されます。
- もう一度押すと、スタートアップ画面に戻ります。

3 **▲ または ▼ を押して、タイトルを選び 決定 を押す。**
- 選んだタイトルの再生が始まります。
- タイトルが3つ以上ある場合は、▼ を押していくとページが切り換わります。

「オリジナル」と「プレイリスト」を切り換える

プレイリストが作成されているディスクの場合は、「オリジナル（ORG）」のディスクナビ画面⟷「プレイリスト（PL）」のディスクナビ画面、と切り換えることができます。

ディスクナビ画面を表示中に…

◀ または ▶ を押して、「オリジナル（ＯＲＧ）」または、「プレイリスト（PL）」を選ぶ。

「ORG」または「PL」

```
ディスクナビ (ORG)               1/ 2
No.    Date       Title
       Time
 1    08/21      8/21   0:10A
      00:10     M    8CH  SP
```

リピート再生をする

再生中に… リピート ○ を押す。

押すたびにリピート再生モードは次のように変わります。

「T ⟲（タイトル）」→「◎ ⟲（ディスク）」→「消灯（通常再生）」

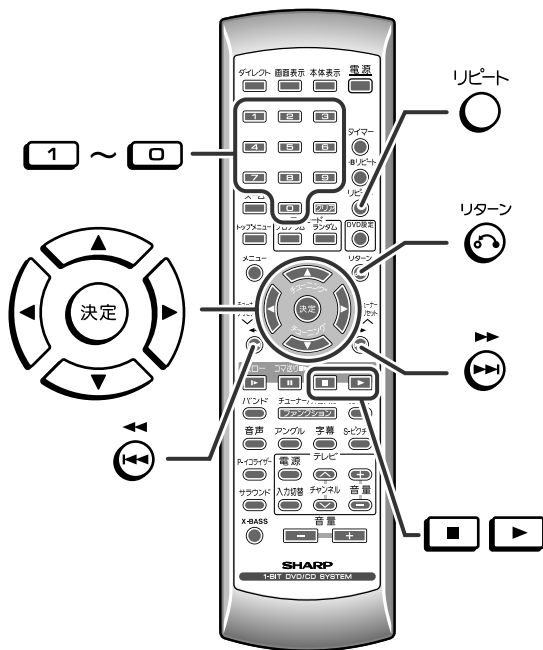
ご 注 意

ファイナライズされていないディスクは再生できない場合があります。
そのときは、記録した DVD レコーダーでファイナライズをしてください。

お知らせ

- ▲ や ▼ のかわりに、**[1]～[0]ボタン**を押してもタイトル番号を選ぶことができます。
- **[1]～[0]ボタン**を押してタイトル番号を選ぶときに、タイトル番号をまちがえたときは、**[リターン]**を押すと、取り消すことができます。
- ＶＲ モードで記録された DVD-RW では、データの書き込み状態により、音声および、画像が途切れることがあります。
- 再生を停止すると、つづき再生情報（☞ P.21）が本機に記憶され、スタートアップ画面に切り換わります。この状態でディスクナビ画面を出すと、つづき再生情報はクリアされます。
- 漢字、ひらがな、カタカナは表示できません。また、認識できない文字はアスタリスクで表示されます。
- ディスクナビ画面を表示したとき、タイトル映像が出るまでには多少時間がかかることがあります。

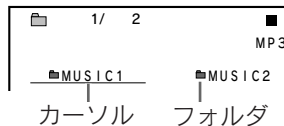
MP3 ディスクのいろいろな操作

MP3 ファイル形式で記録された CD-R/CD-RW を再生することができます。

MP3ファイルを音楽用CDとして記録された CD-R/CD-RW は、MP3 ディスクの操作はできません。
そのときは、CD の操作をしてください。

■ MP3 ディスクを再生する

1 MP3 ディスクを入れたあと…

[■] を押す。

- フォルダ選択画面が表示されます。
- 本体表示部に **"MP3"** が点灯します。

2 [◀]、[▶]、[▲] または [▼] を押してフォルダを選び、[決定] を押す。

トラック選択画面が表示されます。

- フォルダにカーソルを合わせて [▶] を押すと、そのフォルダ内のトラックの先頭から再生が始まります。
- [リターン] を押すと、フォルダ選択画面に戻ります。

3 [◀]、[▶]、[▲] または [▼] を押してトラックを選び、[決定] を押す。

選んだトラックから再生が始まります。

再生中にスキップをする

再生中に…[◀◀] または [▶▶] を押す。
再生中のトラックがあるフォルダ内でスキップされます。

再生中にサーチをする

再生中に…[◀◀] または [▶▶] を 2 秒以上押す。
押すたびに次のようにサーチ速度が変わります。

1（約 2 倍速） → 2（約 8 倍速） → 3（約 32 倍速）

リピート再生をする

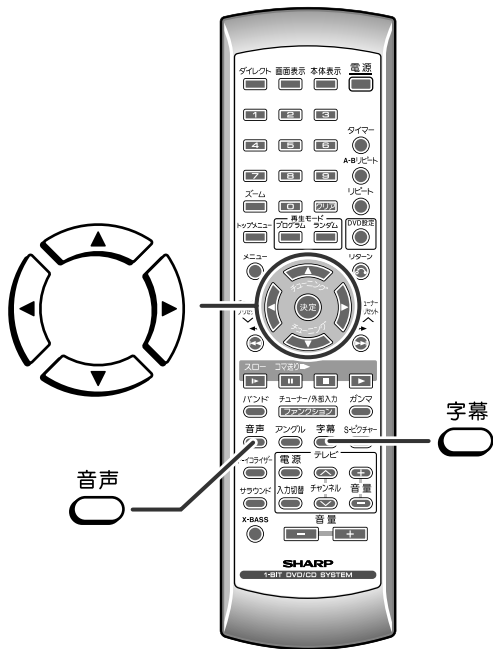
再生中に… [リピート] を押す。
押すたびにリピート再生モードは次のように変わります。

「T ⟲（トラック）」→「📁 ⟲（フォルダ）」→「消灯（通常再生）」

お知らせ

- 再生中のトラックでないところにカーソルを移動しているときに、10秒以上操作がないときは、カーソルのあるトラックが再生されます。
- **[1]～[0]ボタン**を押してトラック番号を入力し、**[決定]** を押しても再生することができます。
- 記録されているトラックの順番通りに再生されないことがあります。
- 認識できる階層は、フォルダ、トラックを含め8階層までです。
- トラックは 256 件まで認識できます。
- マルチセッションディスクも再生することができます。
- 第1セッションがCDフォーマット形式で記録されている場合、音楽用CDと認識され CD フォーマット形式のみ再生されます。
- フォルダ数が多いほど、読み取りに時間がかかります。
- フォルダツリーの構造によっては、読み取りに時間がかかることがあります。
- フォルダ名、トラック名は8文字まで表示できます。文字や記号によっては、正しく表示されないものがあります。
- 高速でデータを記録したディスクの場合、雑音が出たり、再生できないことがあります。

DVD を再生中にいろいろな設定を変える

字幕言語や音声言語を変更しても、電源を切ったり、ディスクを入れ換えると、初期設定で設定している字幕言語や音声言語になります。いつも希望する字幕言語や音声言語にしたいときは、初期設定画面で希望する言語を設定してください。
（☞ P.35）

■ 字幕言語を変更する

再生中に、字幕言語を変更したり、消したりすることができます。

❶ 再生中に…
字幕 を押す。

1 日本語

❷ 10 秒以内に…
字幕 を押して、字幕言語を選ぶ。

2 英語

- 押すたびに、DVD に含まれている字幕言語が切り換わります。
「英語」→「日本語」→ … →「スペイン語」
- ▲ または ▼ を押しても選ぶことができます。

お知らせ
- DVDによっては、字幕言語の変更ができないものがあります。
- 字幕が記録されていないディスクのときは「X X」が表示されます。
- 選んだ字幕言語に切り換わるまで、少し時間がかかることがあります。
- 字幕を消すときは、字幕言語が表示されているときに ◀ または ▶ を押して、「切」を選んでください。

■ 音声言語（音声出力）を変更する

再生中に、音声言語（音声出力）を変更することができます。

❶ 再生中に…
音声 を押す。

1 DD 5.1ch

❷ 10 秒以内に…
音声 を押して、音声言語（音声出力）を選ぶ。

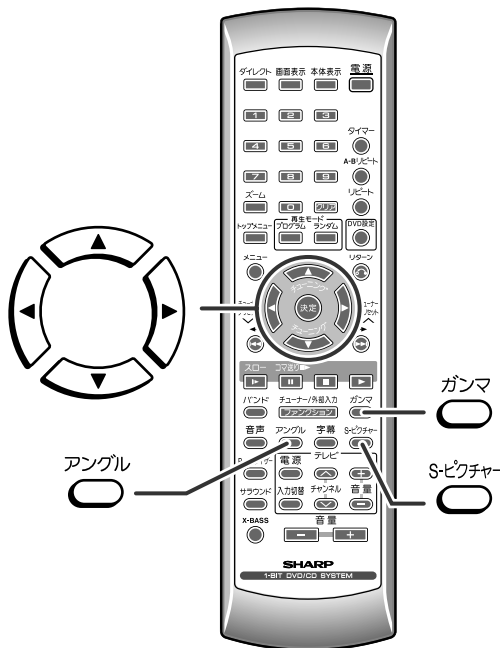
- 押すたびに、音声言語（音声出力）が切り換わります。
- ▲ または ▼ を押しても選ぶことができます。

（例）

1 DD 5.1ch	1: オリジナル＜英語＞ （ドルビーデジタル 5.1ch サラウンド）
2 DD 2ch	2: 日本語 （ドルビーデジタル 2ch）

本機でDTS方式のディスクを再生しても、映像は表示されますが、音声は出ません。音声を聞くためには、「音声言語の設定」をDTS方式以外の音声出力に設定してください。
（例 ドルビーデジタル5.1ch、ドルビーデジタル2chなどに設定します。）ただし、聞こえる音声は2chになります。
DTSデジタルサラウンド対応プロセッサーなどと接続すると、DTS 音声を聞くことができます。（☞ P.47）

お知らせ
- DVDによっては、音声言語の変更ができないものがあります。
- 音声言語や音声方法の種類については、ディスクの取扱説明書をごらんください。

DVDを再生中にいろいろな設定を変える（続き）

■ 画像を明るくする

再生中に画像の明るさを調整することができます。

❶ 再生中に…
ガンマ を押して、「入」を選ぶ。
押すたびに「入」、「切」が切り換わります。

❷ 10秒以内に…◀または▶を押して、
レベルを設定する。

レベル	設定内容
切	通常の画像
入 ▷►►	少し明るく
入 ▷▷►	より明るく
入 ▷▷▷	さらに明るく

■もとの明るさに戻すには
操作❶で、「切」を選びます。

■ 画質を鮮明にする

再生中に画質を調整することができます。

❶ 再生中に…
S-ピクチャー を押して、「入」を選ぶ。
押すたびに「入」、「切」が切り換わります。

❷ 10秒以内に…◀または▶を押して、
レベルを設定する。

レベル	設定内容
切	通常の画質
入 ◀▷►►	少し鮮明に
入 ◀▷▷►	より鮮明に
入 ◀▷▷▷	さらに鮮明に
入 ◁►►►	やわらかな画質

■もとの画質に戻すには
操作❶で、「切」を選びます。

■ アングルを変更する

DVDにアングルが記録されていると、1つの場面をいろいろな角度で見ることができます。

❶ 本体表示部に“ANGLE”が表示されたら…
アングル を押す。

❷ 10秒以内に… アングル を押して、
アングル番号を選ぶ。
- 押すたびに、アングルが切り換わります。
- ▲または▼を押しても選ぶことができます。

お知らせ
- DVDによっては、アングルの変更が禁止されているものがあります。
- アングルが記録されていないディスクでは、アングル番号は表示されません。「XX」が表示されます。
- ディスクによっては操作が異なりますので、ディスクの取扱説明書をごらんください。

■ 画像を拡大表示する（ズーム）

画像を拡大して表示させることができます。

❶ 一時停止中や再生中に…

ズーム を押す。

ズーム：1 ― ズーム表示

押すたびに、「ズーム：1（約1.2倍）」→「ズーム：2（約1.5倍）」→「ズーム：3（約2.0倍）」→「ズーム表示消灯（解除）」の順に切り換わります。

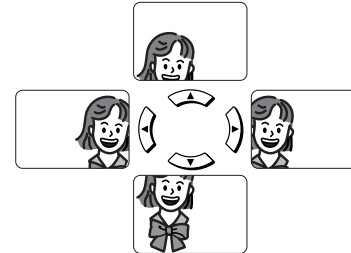
❷ 拡大した部分を移動するには、
ズーム中に…

◀、▶、▲または▼を押す。

■通常の画面に戻すには

操作❶で、「ズーム表示消灯（解除）」を選びます。
ズームを解除すると、拡大画面の移動も解除されます。

お知らせ

- ズーム切換のとき、画面が乱れることがあります。
- 字幕はズームされません。
- 画面の移動中にズーム表示が白色から赤色に変わると、それ以上移動できません。

■ ディスクのメニューから字幕や音声などを変更する

メニューが記録されているDVDでは、ディスクのメニューから字幕や音声言語、音声出力などを変更することができます。

❶ 停止中や再生中に…

メニュー を押す。

メニュー画面の例

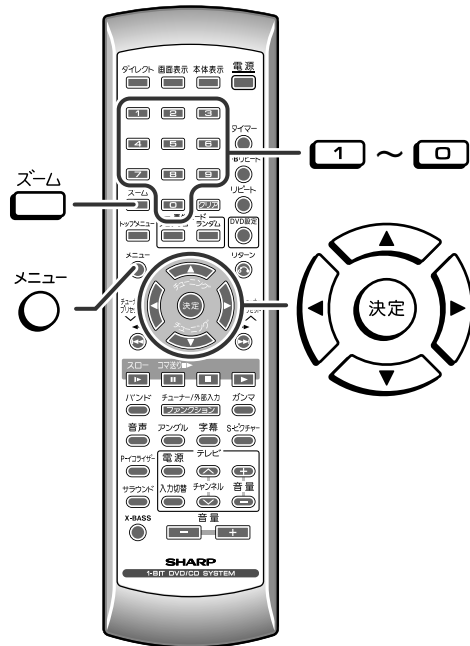
メニュー
1　音声
2　字幕

❷ ◀、▶、▲または▼を押して設定を変更し、

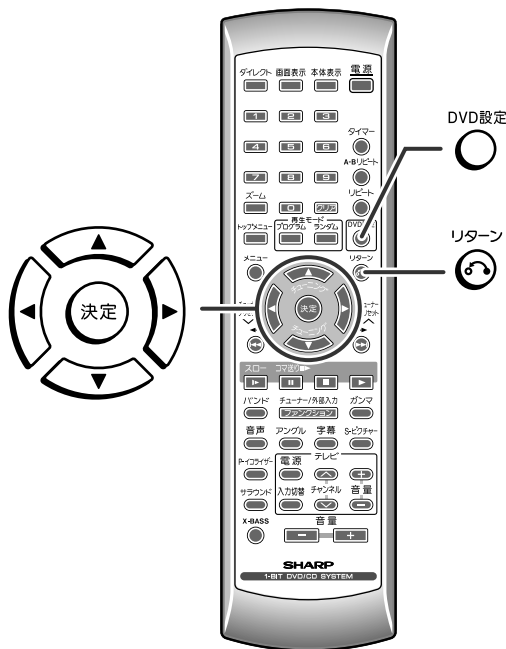
決定を押す。

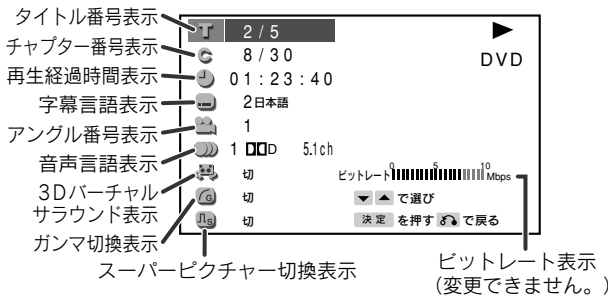
1 ～ 0 で変更できるディスクもあります。

お知らせ

- 左記の手順は、基本的な操作手順です。
DVDによっては手順が異なりますので、DVDの取扱説明書や、画面に表示される手順に従って操作してください。
- プログラム再生中は、ディスクのメニューから設定することはできません。

DVD 再生設定画面からいろいろな設定を変える

DVD 再生設定画面からは、いろいろな項目の設定を同時に変更することができます。

❶ 再生中に… DVD設定 を押す。

❷ ▲ または ▼ を押して項目を選び、決定 を押す。

例）DVD の場合

❸ ◀、▶、▲ または ▼ を押して設定を変更し、決定 を押す。

例）ガンマ切換を選んだとき

指示に従い操作をくり返す。
（くり返す回数は、設定項目により異なります。）

続けて他の設定を変更するときは、操作❷からくり返してください。

❹ DVD設定 を押す。
設定が登録され、再生画面に戻ります。

お知らせ
- ディスクにより項目が選べないことがあります。
- 項目や設定を選んでいるときに、［リターン］を押すと、一つ前の画面に戻ります。

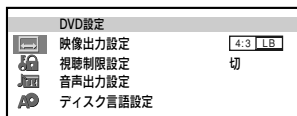
ダイレクトボタンなどを使って直接設定項目を選ぶには、下記のボタンを押します。

設定項目	ボタン	参照ページ
タイトル番号	ダイレクト（1 回）	P.26
チャプター番号	ダイレクト（2 回）	P.26
再生経過時間	ダイレクト（3 回）	P.26
字幕言語	字幕	P.31
アングル番号	アングル	P.32
音声言語	音声	P.31
3Dバーチャルサラウンド	サラウンド	P.19
ガンマ切換	ガンマ	P.32
スーパーピクチャー切換	S-ピクチャー	P.32

DVD の初期設定を変える

初期設定を変更すると、電源を切っても変更した内容を記憶しています。
もとに戻したり、変更するときは、もう一度設定し直してください。

❶ [■] を押したあと…
DVD設定 を押す。
初期設定画面

DVD設定
映像出力設定 4:3 LB
視聴制限設定 切
音声出力設定
ディスク言語設定

❷ ▲ または ▼ を押して項目を選び、決定 を押す。
選択する項目は、右の表をごらんください。

❸ ◀、▶、▲ または ▼ を押して設定を変更し、決定 を押す。
続けて他の設定を変更するときは、操作❷からくり返してください。

❹ DVD設定 を押す。
設定した内容が登録されます。

お知らせ
- ディスクの再生中は初期設定画面が表示されません。
- ディスク言語設定で「その他」の言語、「メニュー言語」を設定するときは、37～38ページをごらんください。
- 項目や設定を選んでいるときに、[リターン]を押すと一つ前の画面に戻ります。

設定項目	選択できる項目		設定内容
映像出力設定	4:3 PS 4:3 LB ※ 16:9		接続するテレビのタイプに合わせて設定。
視聴制限設定（パレンタル）	パスワード	4桁のパスワードを入力	パスワードを忘れたときは、数字ボタンのかわりに [■] を4回連続して押せば解除できます。
	レベル	レベル1～8 切※	DVDソフトの視聴制限のレベルを設定。
	国コード	アメリカ カナダ 日本※ ⋮	ディスクが指定している視聴制限の国コードを設定。
音声出力設定	DD DIGITAL 出力レベル	シフト ノーマル※	ドルビーデジタル音声出力レベルを設定。 **シフト**‥‥‥ 音量レベルが不足しているときは、平均音量を上げることができます。このときは、3Dバーチャルサラウンドは働かなくなります。 **ノーマル**‥‥ ディスクに記録されている音量レベルのまま再生します。
	DD DIGITAL 出力	ビットストリーム※ D-PCM	デジタル音声出力端子に他の機器を接続したときは、他の機器に合った音声出力に設定することができます。（☞ P.47）
	シネマボイス	入 切※	セリフが聞きづらいとき、「入」にするとセリフの音量が上がります。
ディスク言語設定	音声言語	日本語 英語※ オリジナル その他	言語の種類を設定。（☞ P.37） 設定した言語がディスクに記録されていないときは、ディスクで決められた言語が表示されます。 **オリジナル**‥‥ ディスクの最優先言語で再生したいときに設定します。 **オート**‥‥‥ 音声言語に合わせて自動的に字幕を表示します。（例：音声言語で日本語を選んでいるとき、日本語の音声が再生されたときは、字幕を表示しません。英語など日本語以外の音声が再生されたときは、日本語の字幕を表示します。）
	字幕言語	日本語※ 英語 オート その他	
	メニュー言語	メニュー言語1 J メニュー言語2 A	

（※印は、お買いあげ時の設定）

DVDの初期設定を変える（続き）

■ 接続するテレビの画面サイズについて

選択項目	設定内容
4:3 PS	ワイド画像（16：9記録）のディスクを再生したとき、画像の左右をカット（パンスキャン）して、4:3のサイズで映像を出力します。違和感の少ない画像を楽しむことができます。ただし、パンスキャンPS指定のないワイド画像（16：9記録）のディスクは、4:3 LBで再生されます。 4:3画像のディスクは、そのまま4:3で再生されます。
4:3 LB	ワイド画像（16：9記録）のディスクを再生したとき、画像の上下に黒い帯を入れて、4:3のサイズで映像を出力します。ワイド画像（16：9記録）の全体を楽しむことができます。 4:3画像のディスクは、そのまま4:3で再生されます。
16:9	ワイド画像（16：9記録）のディスクを再生したとき、ワイド画像（16：9記録）のサイズで出力します。 • 4:3画像のディスクを再生したときは、接続したテレビの設定により表示が変わります。 • 4:3のテレビと本機を接続した状態で16:9を選んでいるとき、ワイド画像（16:9記録）のディスクを再生すると、縦長の画面になります。

お知らせ
画像の形が固定されているディスクでは、テレビの画面サイズを変更しても、画像の形は変わりません。

■ 視聴制限（パレンタル）レベルについて

選択項目	設定内容
レベル1	子供向けディスクを再生することができます。成人向けディスクと一般向けディスク（R指定を含む）は再生できません。 ・レベル1のディスクは誰でも楽しめる内容です。
レベル2～3	子供向けディスクと一般向けディスク（R指定を除く）を再生することができます。成人指定ディスクと一般向け制限付き(R指定）ディスクは再生できません。
レベル4～7	子供向けディスクと一般向けディスク（R指定を含む）を再生することができます。成人指定ディスクは再生できません。 ・レベル4 ～7のディスクは中学生以下が見ることができない内容です。
レベル8	すべてのディスクを制限なしに再生することができます。 ・レベル8のディスクは成人しか見ることができない内容です。
「切」	視聴制限を解除します。
国コード	ディスクが指定している視聴制限の国コードです。

アメリカ	スウェーデン	マレーシア
カナダ	オランダ	インドネシア
日本	ノルウェー	台湾
ドイツ	デンマーク	フィリピン
フランス	フィンランド	オーストラリア
イギリス	ベルギー	ロシア
イタリア	香港	中国
スペイン	シンガポール	
スイス	タイ	

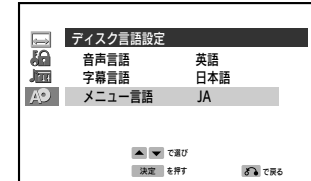
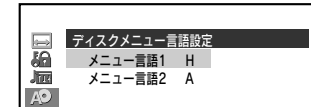
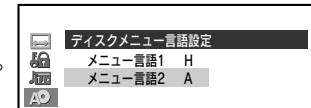
お知らせ
• 初めてパスワードを入力するときは、任意の4桁の数字（例:1234）と入力すると、その数字がパスワードとして登録されます。次からパスワードを入力するときは「1234」と入力してください。
• 視聴制限が記録されているディスクを再生中に、見ることができない場面では、視聴制限の一時変更画面が表示されることがあります。そのときは、パスワードを入力して一時的に視聴制限レベルを変更することができます。

■ ディスク言語について

選択項目	設定内容
音声言語	再生したい音声の言語を設定します。 優先的に設定した言語でセリフやナレーションが聞こえます。 日本語に設定したとき　英語に設定したとき ありがとう → Thank you
字幕言語	再生したい字幕の言語を設定します。 優先的に設定した言語で字幕が表示されます。 日本語に設定したとき　英語に設定したとき ありがとう → Thank you
メニュー言語	再生したいメニューの表示言語を設定します。 優先的に設定した言語でメニュー画面が表示されます。 日本語に設定したとき　英語に設定したとき キャスト／スタッフ → CAST／STAFF

■「その他」の言語、「メニュー言語」の設定について

例）メニュー言語に、HU（ハンガリー語）を選ぶ場合

① 初期設定画面で「ディスク言語設定」を選んだあと（☞ P.35：操作❶〜❷）、「メニュー言語」を選び 決定 を押す。

② ◀ または ▶ を押して、1 文字目のアルファベット「H」を選ぶ。

③ ▲ または ▼ を押して、カーソルを2文字目に移動させる。

④ ◀ または ▶ を押して、2 文字目のアルファベット「U」を選ぶ。

⑤ 決定 を押す。

⑥ DVD設定 を押す。

■ 言語コード一覧表

記号	言語名
AA	アファル語
AB	アブバジア語
AF	アフリカーンス語
AM	アムハラ語
AR	アラビア語
AS	アッサム語
AY	アイマラ語
AZ	アゼルバイジャン語
BA	バジキール語
BE	ベラルーシ語
BG	ブルガリア語
BH	ビハーリー語
BI	ビスラマ語
BN	ベンガル語、バングラ語
BO	チベット語
BR	ブルトン語
CA	カタロニア語
CO	コルシカ語
CS	チェコ語
CY	ウェールズ語
DA	デンマーク語
DE	ドイツ語
DZ	ブータン語
EL	ギリシャ語
EN	英語
EO	エスペラント語
ES	スペイン語
ET	エストニア語
EU	バスク語
FA	ペルシャ語
FI	フィンランド語
FJ	フィジー語
FO	フェロー語
FR	フランス語

記号	言語名
FY	フリジア語
GA	アイルランド語
GD	スコットランドゲール語
GL	ガルシア語
GN	グアラニ語
GU	グジャラート語
HA	ハウサ語
HI	ヒンディ語
HR	クロアチア語
HU	ハンガリー語
HY	アルメニア語
IA	国際語
IE	国際語
IK	イヌピック語
IN	インドネシア語
IS	アイスランド語
IT	イタリア語
IW	ヘブライ語
JA	日本語
JI	イディッシュ語
JW	ジャワ語
KA	グルジア語
KK	カザフ語
KL	グリーンランド語
KM	カンボジア語
KN	カンナダ語
KO	韓国語
KS	カシミール語
KU	クルド語
KY	キルギス語
LA	ラテン語
LN	リンガラ語
LO	ラオス語
LT	リトアニア語

記号	言語名
LV	ラドビア語、レット語
MG	マダガスカル語
MI	マオリ語
MK	マケドニア語
ML	マラヤーラム語
MN	モンゴル語
MO	モルダビア語
MR	マラータ語
MS	マレー語
MT	マルタ語
MY	ミャンマー語
NA	ナウル語
NE	ネパール語
NL	オランダ語
NO	ノルウエー語
OC	プロバンス語
OM	アファン語（オロモ語）
OR	オリヤー語
PA	パンジャブ語
PL	ポーランド語
PS	パシュトー語
PT	ポルトガル語
QU	ケチュア語
RM	ラエティ＝ロマン語
RN	キルンディ語
RO	ルーマニア語
RU	ロシア語
RW	キニャルワンダ語
SA	サンスクリット語
SD	シンド語
SG	サンゴ語
SH	セルビアクロアチア語
SI	シンハラ語
SK	スロバキア語

記号	言語名
SL	スロベニア語
SM	サモア語
SN	ショナ語
SO	ソマリ語
SQ	アルバニア語
SR	セルビア語
SS	シスワティ語
ST	セストゥ語
SU	スンダ語
SV	スウェーデン語
SW	スワヒリ語
TA	タミール語
TE	テルグ語
TG	タジク語
TH	タイ語
TI	ティグリニャ語
TK	トゥルクメン語
TL	タガログ語
TN	セツワナ語
TO	トンガ語
TR	トルコ語
TS	ツォンガ語
TT	タタール語
TW	トウィ語
UK	ウクライナ語
UR	ウルドゥ語
UZ	ウズベク語
VI	ベトナム語
VO	ボラピュク語
WO	ウォロフ語
XH	コーサ語
YO	ヨルバ語
ZH	中国語
ZU	ズール語

タイマー再生について

設定した時刻に、DVD、CD、ラジオ放送を聞くことができます。（タイマー再生）

この製品には、**「ワンスタイマー」**と**「デイリータイマー」**の２種類があります。

ワンスタイマーとは？

１回だけタイマー動作させることができます。

こんなときに便利です。

その日だけのラジオ放送を聞くなど…
（終了後、タイマー設定は解除されます。）

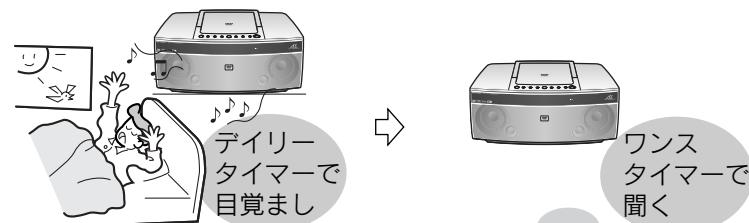
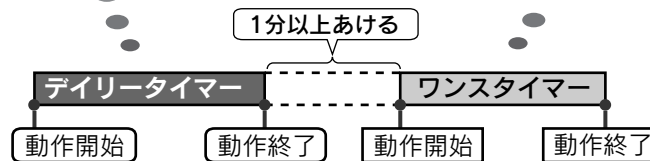
デイリータイマーとは？

毎日同じ時刻にタイマー動作させることができます。

こんなときに便利です。

毎朝の目覚ましとして使ったり、毎日同じ時刻のラジオ放送を聞くなど…

ワンスタイマーとデイリータイマーは、組み合わせて使用することができます。

たとえば、デイリータイマーで毎朝目覚ましとして使いながら、ワンスタイマーで、その日のラジオ放送を聞くことができます。

デイリータイマーとワンスタイマーは時間が重なると、ワンスタイマーが優先されますので、１分以上間をあけてください。

お知らせ

他の機器を、この製品のタイマー設定で操作することはできません。

停電時のご注意

タイマーを設定したあとに、電源コードを抜いたり停電があると、時計が止まり、タイマー設定も解除されます。
そのときは、もう一度、時計設定とタイマー設定をやり直してください。

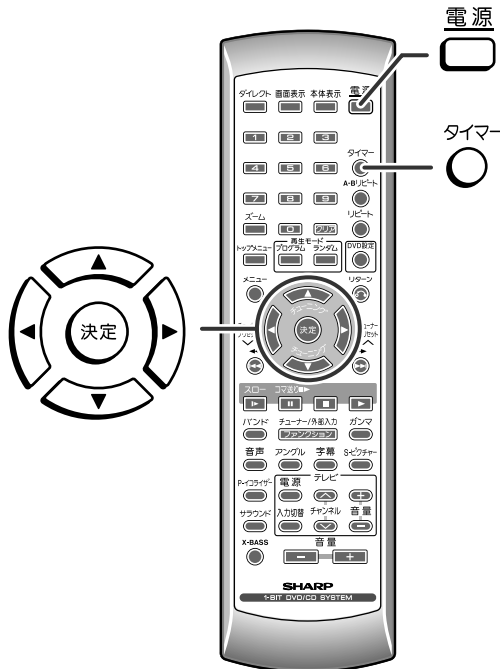
タイマー再生を設定する

タイマーを使う前に

1 時計を合わせる。（☞ P.18）

時計を合わせていないと、タイマーは使用できません。

2 再生の準備をする。

- 再生に必要なディスクを入れてください。
- ラジオ放送を聞くときは、放送局を登録してください。（☞ P.23）

❶ 電源を入れて、タイマーを押す。

❷ 5秒以内に… ▲ または ▼ を押して、"ONCE TIMER"（ワンス タイマー）または "DAILY TIMER"（デイリー タイマー）を選び、決定を押す。

"ONCE TIMER" または "DAILY TIMER" が表示されないときは、時計を合わせてください。

ワンスタイマー	デイリータイマー
ONCE TIMER ↕ AM 9:00	DAILY TIMER ↕ SLEEP

❸ 10秒以内に… ▲ または ▼ を押して、"ONCE SET"（ワンス セット）または "DAILY SET"（デイリー セット）を選び、決定を押す。

ワンスタイマー	デイリータイマー
ONCE SET ↕ ONCE ON	DAILY SET ↕ DAILY ON

❹ ◀ または ▶ を押して、開始時刻の「時」を合わせ、決定を押す。

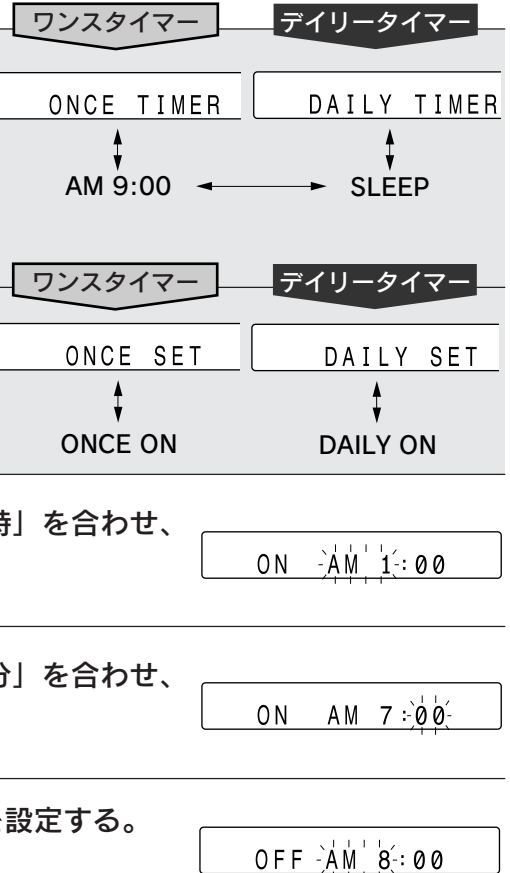
ON AM 1:00

❺ ◀ または ▶ を押して、開始時刻の「分」を合わせ、決定を押す。

ON AM 7:00

❻ 操作❹～❺と同じ手順で、終了時刻を設定する。

OFF AM 8:00

続けて操作❼へ

❼ ◀または▶を押して、聞きたい入力を選び、決定を押す。

DVD/CD ←→ TUNER ←→ AUX ANALOG

「TUNER（チューナー）」を選んだときは…

◀または▶を押して、希望の放送局を選び、決定を押す。

プリセット番号　P 1　78.0

「AUX ANALOG（オグジュアリー アナログ）」を選んだときは
他の機器とこの製品を接続（☞ P.45）して、それぞれタイマー設定してください。

放送局が登録されていないと
“NO P.SET（ノー プリセット）” と表示され、設定操作が終了します。
このときは、放送局を登録（☞ P.23）したあと、操作❶からやり直してください。

❽ ◀または▶を押して、音量を設定し、決定を押す。

VOLUME 20

音量をあまり大きくしないように注意してください。

❾ 電源を押して、電源を切る。

タイマーの待機状態になります。

タイマー設定したあとは…

（タイマー表示が点灯します。☞ P.42）

お知らせ
- タイマーの開始時刻に、電源が入っていると、タイマー再生は始まりません。
- タイマーの待機状態にしてもタイマー表示が点灯しないときは、電源を入れてタイマーの設定を確認してください。（☞ P.42）
- メニュー画面の表示されるDVDは、タイマー再生ができません。

タイマー設定したあとの動作について

タイマー設定したあとは…

タイマーの待機状態です。

TIMER
○
（点灯）

タイマー開始時刻になると…

タイマー再生が始まります。
音量は徐々に大きくなります。

例）ワンスタイマー再生表示

タイマーによって動作している状態です。

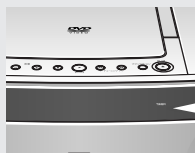
DAILY：デイリータイマー再生

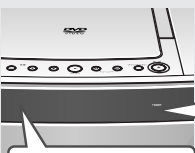
タイマー終了時刻になると…

電源が自動的に切れます。

ワンスタイマー → タイマーの設定が解除されて、“ONCE OFF”の状態になります。

デイリータイマー → **電源を切っておくだけで、**次の日も同じ時刻になると、再びタイマーが動作します。

デイリータイマーの設定を解除するまで、毎日タイマーが動作します。使わないときは、デイリータイマーを解除してください。

ワンスタイマーまたはデイリータイマーの設定内容を確認したいとき

1 [タイマー]を押す。
2 ▲または▼で“ONCE TIMER”または“DAILY TIMER”を選び、[決定]を押す。
3 ▲または▼で“ONCE CALL”または“DAILY CALL”を選び、[決定]を押す。
設定内容が順に表示されます。

ワンスタイマーまたはデイリータイマーを解除したいとき

1 [タイマー]を押す。
2 ▲または▼で“ONCE TIMER”または“DAILY TIMER”を選び、[決定]を押す。
3 ▲または▼で“ONCE OFF”または“DAILY OFF”を選び、[決定]を押す。
タイマーは解除されます。（設定した内容は消えません。）

同じ設定内容で、再びタイマーを使うとき

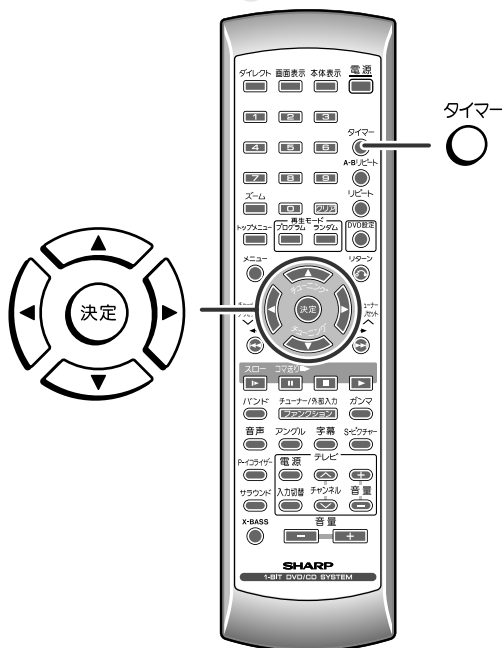
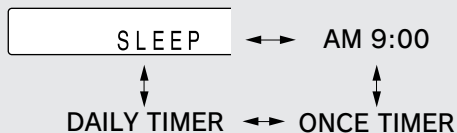
タイマーの設定内容は、一度設定すると覚えています。内容をかえないときは、タイマー再生設定（☞ P.40：操作❸）で“ONCE ON”または“DAILY ON”を選ぶと、同じ内容で再設定されます。

おやすみタイマーを使う（スリープ）

DVD・CD・ラジオ放送を聞きながら設定した時間で電源を切ることができます。

❶ 聞きたい曲の再生中に、[タイマー]を押す。

❷ 5秒以内に…
[▲]または[▼]を押して、“SLEEP（スリープ）”を選び[決定]を押す。

SLEEP ←→ AM 9:00
↕ ↕
DAILY TIMER ←→ ONCE TIMER

❸ [◀]または[▶]を押して、スリープ時間を設定する。

SLEEP 1:00

• 1分～2時間まで設定できます。
• 5分から2時間までは5分単位で、1分から5分までは1分単位で設定できます。

❹ [決定]を押す。

SLEEP 1:00

SLEEP 点灯

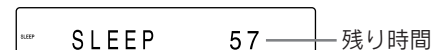
スリープ動作が始まります。

スリープ終了時刻になると
再生が終わり、電源が切れます。

終了1分前になると、音量が徐々に小さくなります。このとき、音量を変えることはできません。

■ スリープ中に残り時間を確認するには

1. スリープ動作中に、[タイマー]を押す。
2. 5秒以内に…
   [▲]または[▼]を押して、“SLEEP（スリープ）”を選ぶ。

   SLEEP 57 ― 残り時間

• 約10秒後にもとの表示に戻ります。
• 残り時間を表示中に、左の操作❷～❹で時間を変更することができます。

■ スリープを解除するには

電源を切ると、スリープは解除されます。

電源を切らずに、スリープだけを解除したいときは、次の操作で解除することもできます。

1. スリープ動作中に、[タイマー]を押す。
2. 5秒以内に…
   [▲]または[▼]を押して、“SLEEP OFF（スリープ オフ）”を選ぶ。

   SLEEP OFF
3. 10秒以内に…
   [決定]を押す。
   スリープが解除されます。（“SLEEP（スリープ）”消灯）

スリープとタイマーを組み合わせて使う

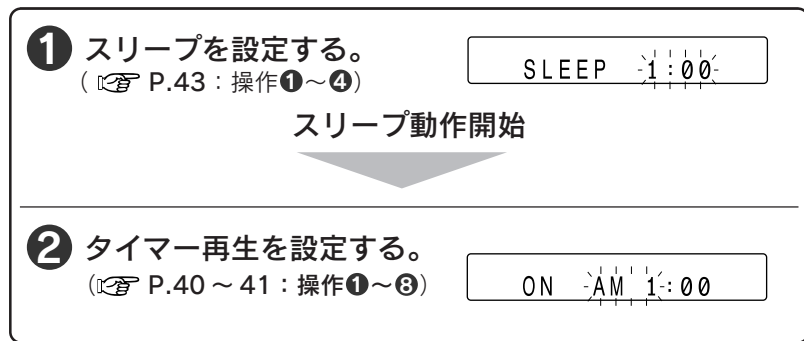
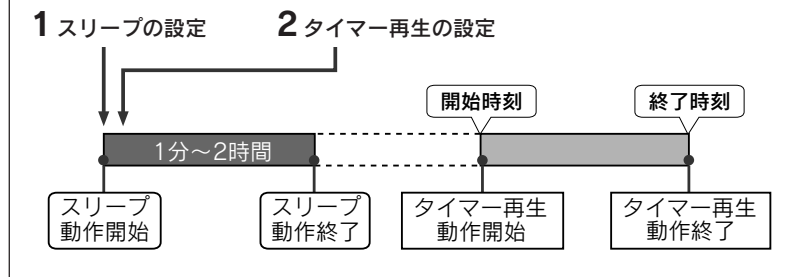
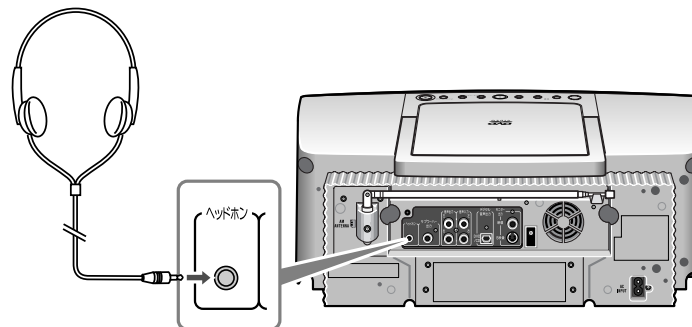
たとえば、ラジオ放送を聞きながらおやすみになり、次の日の朝、CDの音楽で目覚ましをすることができます。

❶ スリープを設定する。
（☞ P.43：操作❶～❹）

SLEEP 1:00

スリープ動作開始

❷ タイマー再生を設定する。
（☞ P.40～41：操作❶～❽）

ON AM 1:00

スリープ時間が過ぎると電源が切れ、タイマーの開始時刻になると電源が自動的に入り、タイマー再生が始まります。

ヘッドホンを使う

- インピーダンス16～50 Ω（推奨32 Ω）で直径3.5mmステレオミニプラグ付ヘッドホンをお使いください。
- ヘッドホンを接続すると、スピーカーから音は聞こえなくなります。
- ヘッドホンから聞こえる音には、**「3Dバーチャルサラウンド」**の効果音が得られます。
  ただし、ふつうの**「サラウンド」**の場合は、**サラウンド**の効果音は得られません。

音のエチケット

- 楽しい音楽も場所によっては気になるものです。ご近所のご迷惑にならないよう､十分気をつけましょう。
- 夜間にお使いになるときは、ご近所のご迷惑にならないよう、音量を小さくするか、ヘッドホンでお楽しみください。
- ヘッドホンをご使用になるときは、耳をあまり刺激しないよう音量を小さくしてお楽しみください。

他の機器の再生音を聞く

• 接続をする前には、各機器の電源を切ってください。
• 各プラグは確実に差し込んでください。

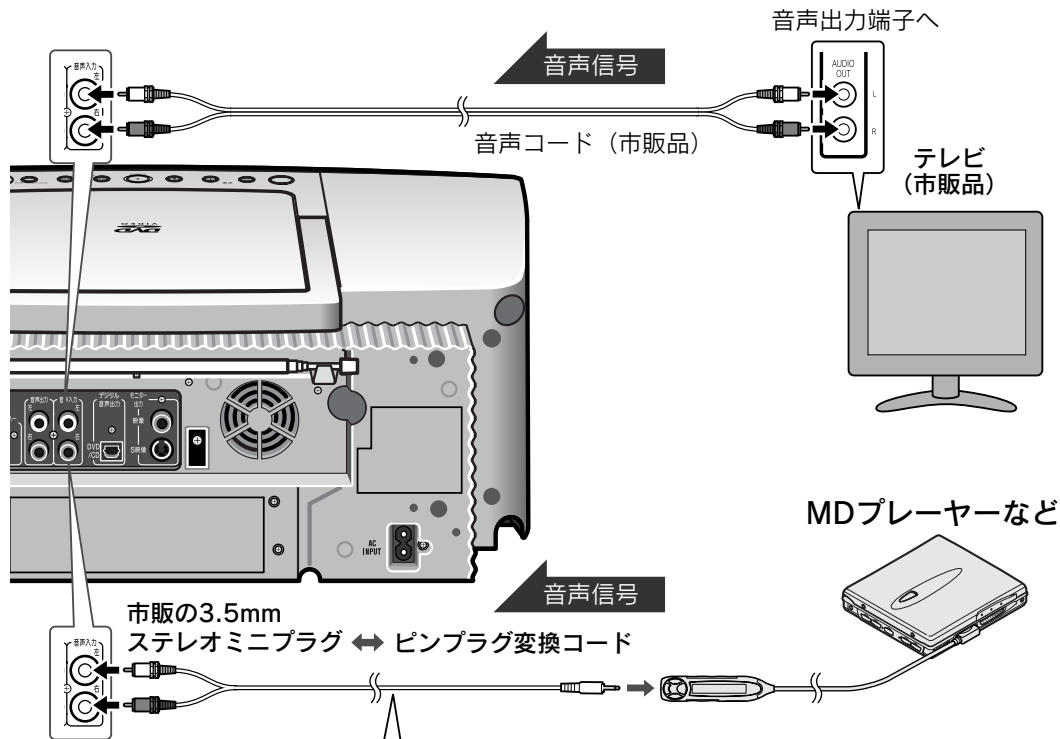
音声出力端子へ

音声信号

音声コード（市販品）

テレビ（市販品）

MDプレーヤーなど

市販の3.5mm ステレオミニプラグ ↔ ピンプラグ変換コード

シャープ1ビットポータブルMDプレーヤーを接続する場合は、ヘッドホン端子が4極プラグになっていますので、専用の接続コードが必要です。
くわしくは、ポータブルMDプレーヤーの取扱説明書をごらんください。

他の機器の再生音を聞く

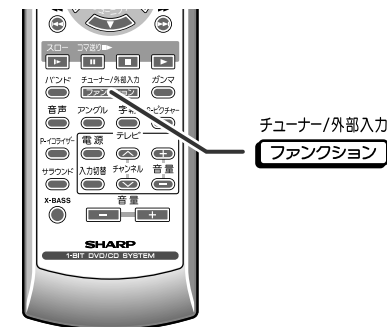
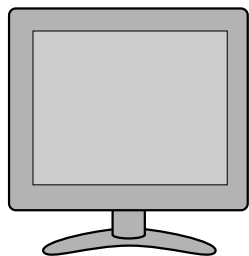
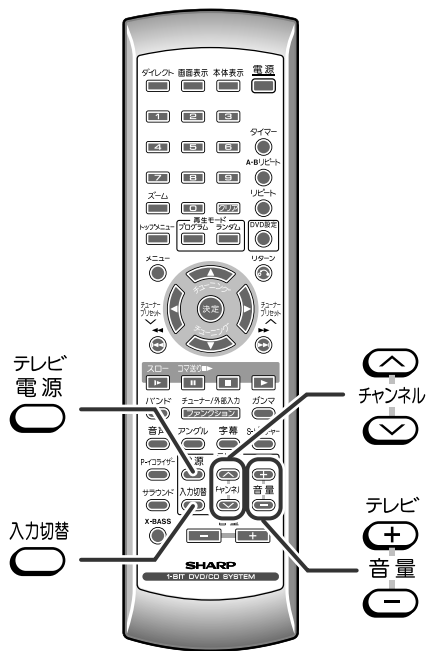
はじめに、他の機器の電源を入れます。

1. チューナー/外部入力 ファンクション を押して、“AUX ANALOG（オグジュアリー アナログ）”を選ぶ。

   AUX ANALOG

2. 接続した機器を再生する。
3. この製品で音量を調整する。

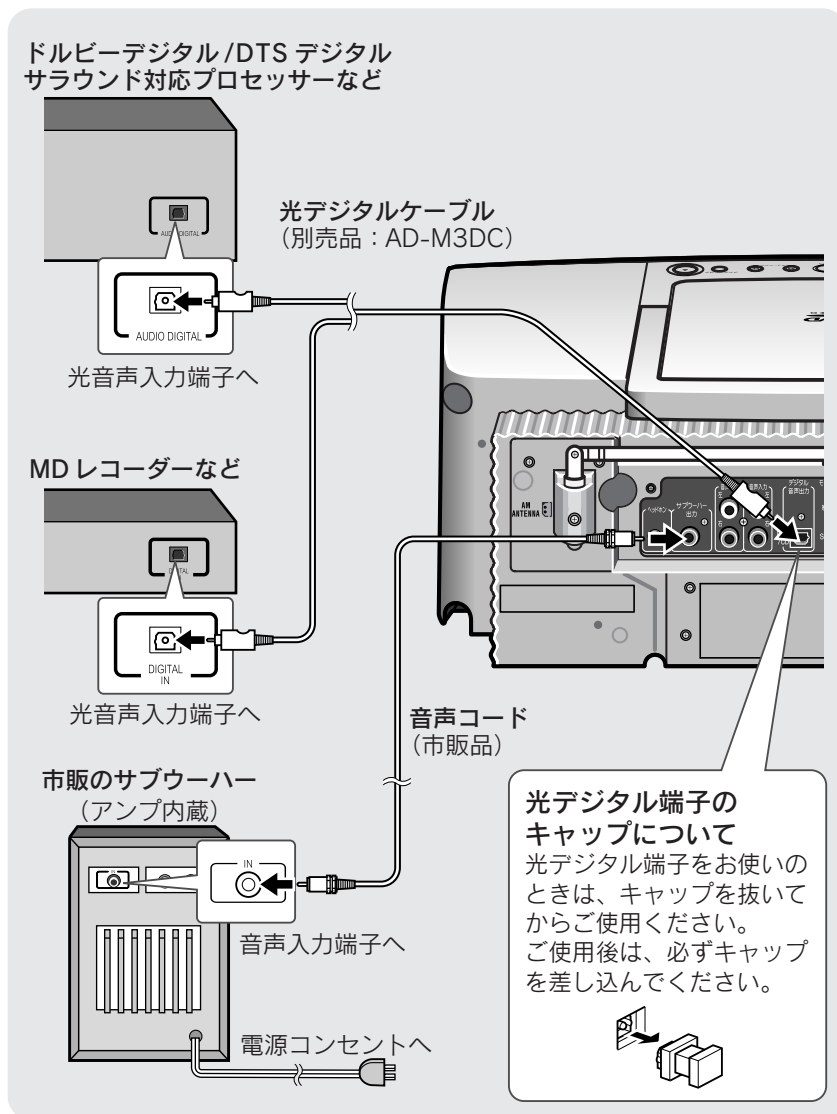
お知らせ

• 本機の音声出力端子（アナログ）からは、DVD、CD、ラジオチューナーからの信号が出力されます。
音声入力端子（アナログ）から入る信号は、音声出力端子（アナログ）からは出力されません。
• 接続コードは付属されていません。
• 抵抗の入っている音声コードを使うと、音が小さくなります。
抵抗の入っていない音声コードをお買い求めください。

テレビを操作する

テレビを見るときは

1. テレビ電源 を押して、テレビの電源を入れる。
2. チャンネル∧ または チャンネル∨ を押して、テレビのチャンネルを合わせる。
3. 入力切替 を押して、テレビの入力を「ビデオ 1・ビデオ 2」などに設定する。
4. テレビ音量＋ または テレビ音量－ を押して、テレビの音量を調整する。

お知らせ

シャープ製のテレビでも、一部の機種は操作できないものがあります。

他の機器と接続して、迫力のある音で楽しむ

■ サラウンド対応プロセッサーやMDレコーダーなどを接続する

ドルビーデジタル/DTSデジタルサラウンド対応プロセッサーなどと接続することにより、DVD/CD の音声を他の機器でお楽しみいただけます。
また、MD レコーダーなどを接続して2ch音声を録音することもできます。
（接続する機器の取扱説明書も合わせてごらんください。）

デジタル音声出力端子に他の機器を接続するときは、他の機器に合った音声出力に設定してください。（☞ P.35）

ビットストリーム	5.1chのドルビーデジタル/DTSデジタルサラウンド対応プロセッサーなど。
D-PCM	MD レコーダーなど。

お知らせ

- **接続する前に、各機器の電源を切ってください。**
- DVD/CD 以外のデジタル音声は、出力されません。
- 96kHzサンプリングのリニアPCM音声で記録されているDVDを再生したとき、デジタル出力される音声は96kHzサンプリングの音声となります。ディスクによっては、48kHz となる場合もあります。
- 他の機器を接続したときは、ドルビーデジタル出力レベルを「ノーマル」に設定することをおすすめします。（☞ P.35）

■ 市販のサブウーハーを接続する

市販のアンプ内蔵サブウーハーをつなぐことで、低音を強調させせることができます。

お知らせ

アンプを内蔵していないスピーカーを接続しても音は出ません。

“故障かな？”と思ったら

次のようなときは故障でないことがありますので、修理を依頼される前に、もう一度お調べください。それでも具合の悪いときは、53ページの「保証とアフターサービス」をごらんのうえ修理を依頼してください。

■ 共通

スピーカーから音が出ない。
➡ 音量が“0”になっていませんか。 ☞ P.19
➡ ヘッドホンをつないでいませんか。 ☞ P.44

再生中に雑音が出る。
➡ テレビ、パソコン、携帯電話などの機器が本機の近くにある場合は、離してください。

ボタンを押しているうちに正常な動作をしなくなった。
➡ 一度、電源を切り、操作をやり直してください。
それでも動作しないときは、リセット操作をしてください。 ☞ P.49

テレビの映像に乱れや雑音が生じる。
➡ 室内アンテナを使用しているテレビを近くに置いていると、テレビに映像の乱れや雑音が生じることがあります。
このようなときは、屋外アンテナの使用をおすすめします。

時刻の確認をしたとき、“TIME ADJUST”（タイム アジャスト）が表示される。
➡ 電源コードを抜いたり、停電がありませんでしたか。
（設定し直してください） ☞ P.18

タイマー再生が動作しない。
➡ 電源コードを抜いたり、停電がありませんでしたか。
時計を合わせ直してください。 ☞ P.18

表示部が暗い。
➡ 本体表示ボタンを2秒以上押して、“DIMMER OFF”（ディマー オフ）を選んでください。 ☞ P.17

電源が入らない。
➡ 電源プラグがコンセントからはずれていませんか。 ☞ P.14

映像が出ない。
➡ テレビの電源は入っていますか。
➡ テレビの入力を切り換えていますか。

■ DVD・CD

ディスクを入れても“NO DISC”（ノー ディスク）や“Can't READ”（キャント リード）が表示される。
➡ ディスクの裏表をまちがえていませんか。
➡ ディスクに汚れやキズがありませんか。
➡ 規格外のディスクを使用していませんか。
➡ 振動の多い不安定な場所で使用していませんか。
➡ つゆつき現象が起きていませんか。 ☞ P.49

操作ボタンを押しても動作をしない。
また、映像や曲の途中で止まってしまい、正しい再生をしなくなる。
➡ ディスクに汚れやキズがありませんか。
➡ 規格外のディスクを使用していませんか。
➡ 振動の多い不安定な場所で使用していませんか。
➡ つゆつき現象が起きていませんか。 ☞ P.49

映像や再生音がとぎれる。
➡ ディスクに汚れやキズがありませんか。
➡ 振動の多い不安定な場所で使用していませんか。
➡ つゆつき現象が起きていませんか。 ☞ P.49

電源が入っているのに動かない。
➡ DVD（リージョン番号2、ALL）、音楽CD以外のものが入っていませんか。 ☞ P.12～13

再生画像が出ない。（音声が出ない）
➡ 映像・音声コードが正しく接続されていますか。 ☞ P.14～15
➡ DVD（リージョン番号2、ALL）、音楽CD以外のものが入っていませんか。 ☞ P.12～13
➡ ディスクが汚れていませんか。ディスクにキズがありませんか。 ☞ P.51
➡ ディスクの表裏をまちがえていませんか。 ☞ P.20
➡ テレビの入力が「ビデオ1・ビデオ2」などになっていますか。
➡ 電源は入っていますか。 ☞ P.17

■ ラジオ

放送に"シー"、"ザー"という連続音が入る。

➡ テレビやコンピュータ、ワープロなどの近くでラジオ放送を受信すると雑音が入ります。このようなときは、雑音の発生しやすいところから離してみてください。
➡ アンテナの方向が悪くありませんか。 ☞ P.15

放送がよく受信できない。雑音も多い。

➡ アンテナ線の近くに電源コードがある場合は離してください。

登録した放送局を呼び出すことができない。

➡ 電源コードを抜いたり、停電がありませんでしたか。登録し直してください。 ☞ P.23
➡ リセット操作をしませんでしたか。登録し直してください。 ☞ P.23

■ リモコン

リモコンで操作できない。
または、正しい動作をしない。

➡ 乾電池の ⊕⊖ の向きが逆になっていませんか。 ☞ P.16
➡ 乾電池が消耗していませんか。
➡ リモコンの送信部を本体のリモコンセンサーに正しく向けていますか。 ☞ P.16
➡ リモコンセンサーと距離が遠すぎませんか。または、近すぎませんか。 ☞ P.16
➡ 本機の前に障害物はありませんか。 ☞ P.16
➡ リモコンセンサーに強い光(インバーター蛍光灯や直射日光など)があたっていませんか。 ☞ P.16
➡ 他の機器のリモコンを同時に操作していませんか。

リモコンで電源が入らない。

➡ 電源コードはつながっていますか。 ☞ P.14
➡ 乾電池は入っていますか。 ☞ P.16

つゆつき現象について

次のようなときには、内部のレンズやディスクにつゆ(水滴)がつくことがあります。

- 暖房をつけた直後。
- 湯気や湿気が立ちこめている部屋に置いてあるとき。
- 冷えた場所(部屋)から急に暖かい部屋に移動したとき。

つゆがつくと……ディスクの信号が読み取れず、この製品が正常な動作をしないことがあります。

つゆを取るには…ディスクを取り出して電源を入れておけば、約1時間位でつゆが取り除かれ、正常な動作をするようになります。

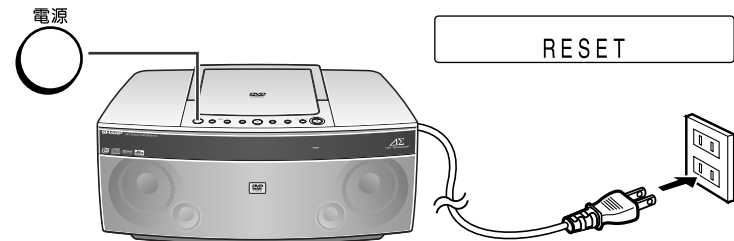
異常が起きたら

この製品を使用中に、強い外来ノイズ(衝撃、過大な静電気、または落雷による電源電圧の異常など)を受けたときや誤った操作をしたときなどに、正しく表示しなくなったり、操作を受けつけなくなるなどの異常が発生することがあります。
このようなときは、次のようにリセット操作をしてください。

リセット操作

❶ **電源コードをコンセントから抜きます。**

❷ (電源) **を押したまま、電源コードを差し込みます。**

"RESET(リセット)"が約1秒間表示されたあと電源が切れます。

ご注意 ....

リセット操作をすると、登録した内容は消え、各種の設定はお買いあげ時の状態に戻ります。(DVDの初期設定は残ります。)

こんな表示が出たときは

■本体表示

表　示	意　味	このようにしてください
Can't PLAY（キャント プレイ）	・リージョン番号が、「2」、「ALL」以外のDVDを再生しようとした。	・再生可能なディスクに取り換える。
Can't READ※（キャント リード）（※は数字や記号です。）	・ディスクにキズがある。 ・再生できないディスク（ビデオCDなど）を再生しようとした。 ・規格外のディスク。 ・ディスクが表裏逆。 ・情報が記録されていないCD-R/CD-RWを入れた。	・ディスクを入れ直すか、取り換える。
Er-※※（エラー）（※※は数字や記号です。）	・アンプ動作異常。 ・DVD 通信異常。	・電源を切って、再度電源を入れてみる。また、リセット操作をしてみる。それでもエラー表示が出るときは、お買いあげの販売店に修理をお申しつけください。
FAN LOCK（ファン ロック）	・本体背面の空冷ファンが回っていない。	・電源を切って、再度電源を入れてみる。それでも“FAN LOCK（ファン ロック）”が出るときは、お買いあげの販売店に修理をお申しつけください。
NO DISC（ノー ディスク）	・ディスクが入っていない。 ・ディスクが表裏逆。	・ディスクを入れる。 ・ディスクを入れ直す。

■テレビ画面表示

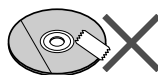
テレビ画面表示	エラーの内容
⃠ このディスクは再生できません	本機で再生できないディスクを入れたり、裏表を逆に入れたとき。
⃠ 地域番号が違います	リージョン番号が「2」「ALL」以外の DVD を入れたとき。
ディスクを入れてください	ディスクが入っていないとき。
⃠ この操作はできません	・誤った操作をしたとき。 ・操作を禁止されている場面で操作したとき。
⃠ ディスクでこの操作は禁止されています	本書に記載されている操作を、ディスク側で禁止しているとき。

ディスクの取り扱いについて

■ 取り扱い上のご注意

- ディスクを持つときは、再生面（印刷されていない面）に触れないように、必ずふちを持ってください。
  再生面のホコリやキズ、変形などは、雑音や動作不良の原因となることがあります。
- ケースから出し入れするときは、再生面に触れないようにしてください。

- 印刷面に硬い鉛筆やボールペンなどで文字を書かないでください。再生面にも影響をおよぼし、動作不良の原因となります。
- ラベルやシールを貼らないでください。

- セロハンテープやラベル（レンタルCDなど）などののりがはみ出していたり、はがしたあとがあるものはお使いにならないでください。
  そのまま再生すると、故障の原因となることがあります。
- 特殊形状（ハート型や八角形やふち取りをしているものなど）のディスクは、使用しないでください。
  故障の原因となります。

■ お手入れ

ディスクに汚れやキズがあると、映像や音声が乱れることがあります。
ディスクを取り出し、汚れを落としてから、再生してください。

- 再生面に指紋や汚れがついたときは、やわらかい布で、中央からふちの方向にまっすぐに軽くふき取ってください。
- 汚れがひどいときは、水で少し湿らせた柔らかい布で軽くふき取り、乾いた布でから拭きしてください。
- ふちから中央の方向にふいたり、回転方向に回しながらふくとキズがつくことがあります。

次のものは使用しないでください。

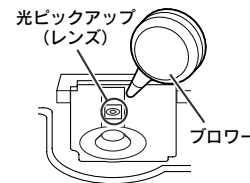
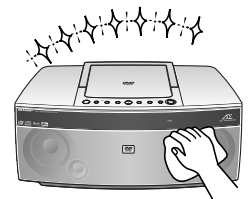
- ベンジンやアルコールなどの溶剤
- 研磨剤を含むクリーナー
- レコード用のクリーナー
- 静電防止剤

■ 保管上のご注意

ホコリやキズ、変形などを避けるため、必ず専用ケースに入れて保管してください。
次のような所に置かないでください。

- 直射日光が長時間あたる場所。（特に密閉した自動車内等）
- 温度の高い所や湿度の高い所。
- 専用ケースの中に砂やホコリが入りやすい場所。（海辺や砂地等）

お手入れについて

- 光ピックアップ（レンズ）にホコリや汚れがつくと、音とびを起こしたり、正しく動作をしないことがあります。
  ホコリがついたときは、市販のカメラレンズ清掃用のブロワーなどで清掃してください。

- やわらかい布で軽くふき取ってください。
- 汚れがひどいときは、水にひたした布をよくしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

ご注意

- **光ピックアップ（レンズ）は手でさわらないように気をつけてください。**
- 使わないときは、ディスクブタを閉じておいてください。
- レンズにキズをつけないように気をつけてください。
- **ベンジン、シンナーなどは使わないでください。**
  変質したり、塗料がはげることがあります。

別売品について

この製品を正しく動作させるために、別売品は指定のものをお使いください。

光デジタルケーブル
形名：AD-M3DC
コードの長さ：約 1m

仕様

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

DVDビデオプレーヤー部

水平解像度	DVD：500本
信号方式	NTSCカラー方式準拠
読み取り方式	非接触光学式読み取り方式（半導体レーザー使用）
周波数特性	20～20,000 Hz（+1/-3dB）(JEITA)
ワウ・フラッター	測定限界（±0.001%W.PEAK）以下（JEITA）

チューナー部

受信周波数	FM：76.0～108.0 MHz（TV音声 1～3CH） AM：522～1,629 kHz
回路方式	クオーツデジタルシンセサイザー方式 スーパーヘテロダインFM/AMチューナー
アンテナ	FM：ロッドアンテナ AM：専用ループアンテナ（付属）

タイマー／時計部

形式	デジタルクロック
タイマー	デイリータイマー/ワンスタイマー/スリープタイマー

リモコン部

電源	DC 3 V（付属単3乾電池×2個）

アンプ／共通部

スピーカー	8 cm フルレンジスピーカー（4Ω）×2
実用最大出力	10W（5W+5W）（JEITA）
A/Dノイズシェーピング	7次 ⊿Σ（デルタシグマ）変調
音声入力端子	アナログ外部入力： 500mV（47kΩ） ピンジャック（L/R）×1
音声出力端子	ヘッドホン出力： 16～50Ω（推奨32Ω） 直径3.5mmステレオミニジャック×1 デジタル外部出力： 角型光出力端子×1 (DVD/CD出力) アナログ外部出力： 500mV（10kΩ） ピンジャック（L/R）×1 サブウーハー出力： 1V（10kΩ）70Hz ピンジャック（モノラル）×1
映像出力端子	モニター出力： S端子、ビデオ出力各1系統
電源	100V AC、50/60 Hz
消費電力	AC 28W
最大外形寸法	420（幅）×150（高さ）×271.6（奥行）mm（JEITA）
質量	約5.5 kg

保証とアフターサービス （よくお読みください）

保証書（裏表紙）

- 保証書は「お買いあげ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取ってください。
  保証書は内容をよくお読みの後、大切に保存してください。
- **保証期間**
  お買いあげの日から１年間です。
  保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

補修用性能部品の保有期間

- 当社は、1ビットDVD/CDシステムの補修用性能部品を製造打切後、８年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

- 修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買いあげの販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口（54ページ）にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは　持込修理

「"故障かな？" と思ったら」（48～49ページ）を調べてください。
それでも異常があるときは、使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてから、お買いあげの販売店にご連絡ください。

保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。

便利メモ お客様へ…
お買いあげ日・販売店名を記入されると便利です。

お買いあげ日	販売店名
年　月　日	電　話（　　　　）　　　－

長年ご使用のオーディオ機器の点検を！	
このような症状はありませんか？	● 電源コードやプラグが異常に熱い ● コゲくさい臭いがする ● 電源コードに深いキズや変形がある ● その他の異常や故障がある

ご使用中止

故障や事故防止のため、電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いて、必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は、販売店にご相談ください。

お客様ご相談窓口のご案内

修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は、お買いあげの販売店へご連絡ください。

転居や贈答品などで、保証書記載の販売店にご相談できない場合は、下記窓口にご相談ください。

- 製品の故障や部品のご購入に関するご相談は・・・ **修理相談センター** へ
- 製品のお取扱い方法、その他ご不明な点は・・・・・ **お客様相談センター** へ

お客様相談センター

■ 受付時間： ＊月曜～土曜：午前9時～午後6時
＊日曜・祝日：午前10時～午後5時（年末年始を除く）

東日本相談室	TEL **043-297-4649**	FAX **043-299-8280**
	〒261-8520　千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2	
西日本相談室	TEL **06-6621-4649**	FAX **06-6792-5993**
	〒581-8585　大阪府八尾市北亀井町3-1-72	

● 所在地・電話番号などについては変更になることがありますので、その節はご容赦願います。

修理相談センター

● 修理相談センター（沖縄･奄美地区を除く）

■ 受付時間：＊月曜～土曜：午前9時～午後6時　＊日曜・祝日：午前10時～午後5時（年末年始を除く）

0570-02-4649
当ダイヤルは、全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。
呼出音の前に、ＮＴＴより通話料金の目安をお知らせ致します。
（注）携帯電話・ＰＨＳからは、下記電話におかけください。

		<東日本地区>	<西日本地区>
○ 携帯電話／ＰＨＳでのご利用は・・・	(一般電話)	043-299-3863	06-6792-5511
○ ＦＡＸを送信される場合は・・・・・・・	(Ｆ Ａ Ｘ)	043-299-3865	06-6792-3221

○ 沖縄･奄美地区については、下表の「那覇サービスセンター」にご連絡ください。

◎ **持込修理および部品購入のご相談**は、上記「修理相談センター」のほか、下記地区別窓口にても承っております。

■ 受付時間：＊月曜～土曜：午前9時～午後5時30分（祝日など弊社休日を除く）
〔但し、沖縄･奄美地区〕は・・・・＊月曜～金曜：午前9時～午後5時30分（祝日など弊社休日を除く）

担当地域	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
北海道地区	札幌 サービスセンター	011-641-4685	〒063-0801	札幌市西区二十四軒１条7-3-17
東北地区	仙台 サービスセンター	022-288-9142	〒984-0002	仙台市若林区卸町東3-1-27
関東地区	さいたまサービスセンター	048-666-7987	〒331-0812	さいたま市北区宮原町2-107-2
	宇都宮 サービスセンター	028-637-1179	〒320-0833	宇都宮市不動前4-2-41
	東京テクニカルセンター	03-5692-7765	〒114-0013	東京都北区東田端2-13-17
	多摩 サービスセンター	042-586-6059	〒191-0003	日野市日野台5-5-4
	千葉 サービスセンター	047-368-4766	〒270-2231	松戸市稔台295-1
	横浜 サービスセンター	045-753-4647	〒235-0036	横浜市磯子区中原1-2-23
東海地区	静岡 サービスセンター	0543-44-5781	〒424-0067	静岡市清水鳥坂1170番1
	名古屋 サービスセンター	052-332-2623	〒454-8721	名古屋市中川区山王3-5-5
北陸地区	金沢 サービスセンター	076-249-2434	〒921-8801	石川郡野々市町御経塚4-103
近畿地区	京都 サービスセンター	075-672-2378	〒601-8102	京都市南区上鳥羽菅田町48
	大阪テクニカルセンター	06-6794-5611	〒547-8510	大阪市平野区加美南3-7-19
	神戸 サービスセンター	078-453-4651	〒658-0082	神戸市東灘区魚崎北町1-6-18
中国地区	広島 サービスセンター	082-874-8149	〒731-0113	広島市安佐南区西原2-13-4
四国地区	高松 サービスセンター	087-823-4901	〒760-0065	高松市朝日町6-2-8
九州地区	福岡 サービスセンター	092-572-4652	〒816-0081	福岡市博多区井相田2-12-1
沖縄・奄美地区	那覇 サービスセンター	098-861-0866	〒900-0002	那覇市曙2-10-1

● 所在地・電話番号などについては変更になることがありますので、その節はご容赦願います。

〈無 料 修 理 規 定〉

1. 取扱説明書・本体注意ラベルなどの注意書にしたがった正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合には、お買いあげの販売店が無料修理いたします。
2. 保証期間内でも、次の場合には有料修理となります。
   （イ） 本書のご提示がない場合。
   （ロ） 本書にお買いあげ年月日・お客様名・販売店名の記入がない場合、または字句を書き換えられた場合。
   （ハ） 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障・損傷。
   （ニ） お買いあげ後に落とされた場合などによる故障・損傷。
   （ホ） 火災・公害・異常電圧および地震・雷・風水害その他天災地変など、外部に原因がある故障・損傷。
   （ヘ） 一般家庭用以外（例えば業務用）に使用された場合の故障・損傷。
   （ト） 消耗部品（乾電池）が損耗し取り替えを要する場合。
   （チ） 電池の液漏れによる故障・損傷。
   （リ） 持込修理の対象商品を直接メーカーへ送付した場合の送料等はお客様の負担となります。また、出張修理等を行った場合には、出張料はお客様負担となります。
3. 本書は日本国内においてのみ有効です。

★ この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがいましてこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などにつきましておわかりにならない場合は、お買いあげの販売店またはシャープお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

★ 保証期間経過後の修理または補修用性能部品の保有期間につきまして、くわしくは取扱説明書をご覧ください。

修理メモ

SHARP

シャープ 1ビットDVD/CDシステム保証書

持込修理

形　　名	SD-V10
お客様	ふりがな お名前　　　　様 ☎ 〒 ご住所
取扱販売店名・住所・電話番号	
保証期間	お買いあげ日　　年　　月　　日より　**本体は１年間** ただし消耗品は除く

本書は、記載内容の範囲で無料修理をさせていただくことをお約束するものです。
保証期間中に故障が発生した場合は、お買いあげの販売店に修理をご依頼のうえ、本書をご提示ください。
お買いあげ年月日、販売店名など記入もれがありますと無効です。記入のない場合は、お買いあげの販売店にお申し出ください。
ご転居・ご贈答品などでお買いあげの販売店に修理をご依頼できない場合は、取扱説明書に記載しております「お客様ご相談窓口のご案内」をご覧のうえ、もよりのお客様ご相談窓口にお問い合わせください。
本書は再発行いたしません。たいせつに保管してください。

シャープ株式会社
〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町22-22
電　　話　（06）6621-1221（大代表）

● 製品についてのお問い合わせは‥

お客様相談センター	東日本相談室	TEL **043-297-4649**	FAX **043-299-8280**
	西日本相談室	TEL **06-6621-4649**	FAX **06-6792-5993**

《受付時間》 月曜〜土曜：午前９時〜午後６時　　日曜・祝日：午前10時〜午後５時（年末年始を除く）

● 修理のご相談は‥　54ページ記載の『**お客様ご相談窓口のご案内**』をご参照ください。

● シャープホームページ　**http://www.sharp.co.jp/**

シャープ株式会社

本　　　　社　〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町22番22号
AVシステム事業本部　〒739-0192　東広島市八本松飯田２丁目13番１号

Printed in Malaysia
TINSJA011AWZZ
03J R HK ①